

科目名	科目担当代表教員	ページ数
心理学概論	石垣 則昭	2
総合教養講座	白戸 力弥	7
文章表現	矢部 玲子	12
キャリア入門	木村 悠里菜	17
現代医療と福祉・介護	今泉 博文	21
基礎化学	藤井 駿吾	26
情報処理リテラシー	松岡 審爾	31
情報処理リテラシー	松岡 審爾	35
生命科学	荒井 克俊	39
物理学	松岡 審爾	44
英語Ⅰ	Patrick Hall	49
英語Ⅰ	Patrick Hall	54
韓国語Ⅰ	金 京室	59
中国語Ⅰ	野間 晃	64
生涯スポーツⅠ	平岡 英樹	69
生涯スポーツⅠ	平岡 英樹	74
人体機能学Ⅰ	高岡 哲子	79
人体構造学Ⅰ	高岡 哲子	84
医療概論	高岡 哲子	89
看護基礎講座	木口 幸子	93
コミュニケーション論	佐々木 律子	98
看護学の基礎	藤長 すが子	102
共通看護援助技術	佐々木 律子	107
共通看護援助技術	佐々木 律子	112
在宅看護学の基礎	鹿内 あずさ	117
基礎看護学実習Ⅰ	藤長 すが子	122

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		心理学概論				ナンバリング	1110
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	石垣 則昭						
授業の位置づけ							
本科目は理学療法学科の看護学科では「幅広い教養を身につける」「教養人文系」の分野として位置づけられている。また「疾病の原因および治療における基礎的な知識を身につける」に該当し、1年次で学習する分野である「疾病の成り立ちと回復」の「メンタルヘルス」、さらには看護学科における各専門・専門基礎教科との連携を重視し授業を進める。							
授業の概要							
本科目では、人格論に焦点を合わせながら現代心理学の概観を試みる。まず学習、動機づけ、知覚等の心理学的概念を用いて人格の形成過程を説明する。さらに摂食障害、薬物依存、多重人格等、広く人格障害に関与する異常行動の病理に言及する。履修者は、心理学を通して、人間が、外側からは知ることのできない人間のこころの内側とそのしくみをどのように解き明かしてきたのかを知ると同時に、その方法を自分自身にも適用し、自分を客観的に見つめ、いまの自分がどのように形成されてきたのか、また、今の自分をどのように変えていくことができるのかという問題に答えられることを期待する。							
到達目標							
①心理学が辿った歴史的な研究の過程と特徴を理解できる。(知識・技能)②心理学概論の研究の変遷を適切にとらえ表現することができる。(思考・判断・表現)③心理学概論の学習を他のメンバーと協力し、学習課題を解決することができる。(関心・意欲・態度)							
授業の方法							
授業の到達目標を達成するため、説明と演習の知的生産交流により授業を進める。受講者の学習への主体化を図るため、ハイブリッド型(ICTの活用と対面学習)を中心にアクティブラーニングにより授業を進める。毎時間、400字～600字及び800字程度で作成する学習レポートを授業中クラスルームより送信、学習終了前に完成させ返信する。その後、採点し返却する。あわせて14回目に小テスト(30点満点)を実施し、総合的に学習評価を行う。							
ICT活用							
毎時間のレポートの作成、FAMアプローチによる授業評価などグーグルクラスルームの活用による双方向の授業を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

北海道内の公立中学校の校長12年の実務経験と教育原理、教育心理学を中心に据え学校改善を図り、生徒の人間関係力の育成、学力向上を中心に様々な教育成果を上げた。また校長在任中より現在までの間、北海道内外の小中高等学校へ「職場のメンタルヘルスの保持・増進」基礎心理学の社会心理学による「職場の人間関係づくりとコミュニケーション」や生徒指導を含め、今日の教育問題の解消・解決のため教育行政などより依頼を受け各種研修会の講師を務めている。

課題に対するフィードバックの方法

質問は授業中、クラスルームでのレポート提出時とあわせ随時受けつけ、内容により受講者全員への還元を図る。また毎時間、授業への自己評価、相互評価さらにルーブリックにより学習レポートを作成し、学習課題への回答を評価コメントを添え返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ルーブリック評価による評価基準を含めたオリエンテーション、基礎心理学の進化心理学による行動的形質であるヒューマン・ユニバーサルズの意味、教科書1の自己発見、教科書2のヒポクラテスの単純元素、教科書3のプラトンの自己概念、教科書5のイスラムと精神医学について理解できる。	シラバスにより学習の見通しを持ち、教科書の「はじめに」の内容を熟読する。(90分)	ヒューマン・ユニバーサルズの教科書1の自己発見、教科書の2のヒポクラテスの単純元素、教科書3のプラトンの自己概念、教科書5のイスラムと精神医学を整理する。(90分)
担当教員			
第2回	教科書6の古代心理学における共通感覚の意味から教科書10のデカルトの思考機械と松果体とその役割、教科書11のウィリスの脳解剖とウィリス動脈輪、さらに教科書12のジョン・ロックの知性の本性としての自己の記録内容について理解できる。	教科書の6の共通感覚から12の知識の本性を熟読し学習内容の把握をする。(90分)	教科書6のデカルトの思考機械、ウィリスの脳解剖、ウィリス動脈輪、教科書12の知識の本性を整理する。(90分)
担当教員			
第3回	教科書13のバークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、教科書17のキルケゴールの自己の選択、教科書18のフィニアス・ゲージの記憶による前頭前野・大脳皮質の実行機能を中心に学習内容を理解できる。	教科書13のバークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、教科書17のキルケゴールの自己の選択、教科書18のフィニアス・ゲージの記憶による前頭前野・大脳皮質の実行機能を中心に学習内容を理解する。	教科書13のバークリーの観念と実物からフェヒナーの法則、教科書17のキルケゴールの自己の選択、特に教科書18のフィニアス・ゲージの記憶の研究内容を中心に整理する。(90分)
担当教員			
第4回	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウィンの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説及び感情心理学と情動の2要因理論について理解できる。	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウィンの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説についての範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書19のモーズリーの気分障害から教科書20のダーウィンの情動、教科書19のフランシス・ゴールドンの優生学、教科22のシャルコーのヒステリー法則、教科書24の情動のジェームス・ランゲ説及び感情心理学と情動の2要因理論について整理する。(90分)
担当教員			

第5回	教科書25の脳半球優位性、特に教科書26のフロイトの精神分析理論を中心に教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究を理解できる。	教科書25の脳半球優位性、教科書26のフロイトの精神分析、教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書25の脳半球優位性、教科書26のフロイトの精神分析を中心に、教科書27の心理学の原理、28の自立神経系の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第6回	教科書29の双極性障害から教科書35の劣等コンプレックスを中心に教科書36サイコドラマの研究について理解できる。	教科書29の双極性障害から、教科書36のサイコドラマの研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書29の双極性障害から、教科書35の劣等コンプレックスを中心に、教科書36のサイコドラマの研究を整理する。(90分)
担当教員			
第7回	教科書37の知能指数から教科書42の発達心理学を中心に、教科書45の心理学の場理論の研究について理解できる。	教科書37の知能指数、教科書42の発達心理学、教科書45の心理学の場理論の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書37の知能指数、教科書42の発達心理学を中心に教科書45の心理学の場理論の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第8回	教科書46の自閉症(自閉症スペクトラム・ASD)から教科書50の知能の心理学、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究を中心に理解できる。	教科書46の自閉症、教科書50の知能の心理学、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書46の自閉症、教科書50の偏見の学習、教科書52のアルバート・エリスの認知行動の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第9回	教科書53の人生の八つの段階と教科書59の欲求の段階構造の研究を中心に理解できる。	教科書53の人生の八つの段階、教科書59の欲求の段階構造の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書53の人生の八つの段階、教科書59の欲求の段階構造の研究の範囲の学習内容を整理する。(90分)
担当教員			
第10回	教科書60の言語の獲得から教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、66のモデリング行動を中心に学習内容を理解できる。	教科書60の言語の獲得、教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、67の「スイッチを入れて、波長を合わせ、社会に背を向けよ」の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書60の言語の獲得から教科書63のフェスティンガーの認知的不協和、66のモデリング行動を中心に学習内容を整理する。(90分)
担当教員			

第11回	教科書68のフーコーの人間観から教科書70の抑うつテスト、学習の中心課題である教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究を理解できる。	教科書68のフーコーの人間観、教科書70の抑うつテスト、教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書68のフーコーの人間観から教科書70の抑うつテスト、学習の中心課題である教科書72のボウルビイの愛着理論、教科書74の家族療法の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第12回	学習の中心となる教科書75の記憶地図からヒューリスティクス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究について理解できる。	教科書75の記憶地図、ヒューリスティクス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	学習の中心となる教科書75の記憶地図からヒューリスティクス、教科書80のアイデンティティ、教科書81の衝動性と脅迫性の研究について整理する。(90分)
担当教員			
第13回	教科書82の感覚データから、学習の中心である教科書83の自己肯定感、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究までを理解できる。	教科書82の感覚データ、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究の範囲を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書82の感覚データから、学習の中心である教科書83の自己肯定感、教科書85のフロー体験、教科書87の機能的MRIの研究までを整理する。(90分)
担当教員			
第14回	学習のまとめとしての小テストを実施し、教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問について理解できる。	学習のまとめである小テストに向けての準備をし、教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書88の六つの基本感情、教科書91の心的外傷後ストレス、教科書93の意識に関する難問の研究を整理する。(90分)
担当教員			
第15回	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ピックファイブ理論について理解でき、本科のまとめを行う。	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ピックファイブ理論を熟読し授業準備をする。(90分)	教科書94のミラーニューロン、教科書95の社会的調和、教科書100の再現可能性の危機、パーソナリティ・ピックファイブ理論を整理し、本科目のまとめを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	ルーブリックの評価規準による毎時間の学習レポート評価(1回1点～5点を14回・70点)	

その他	30	小テスト(30問×1点を1回・30点)
教科書		
図鑑心理学～歴史を変えた100の話～(トム・ジャクソン＝著 清水・井上智義＝監訳・訳 (NEWTON PRESS 2020発行)を各自購入し教科書とする。また自作の補助資料を授業ごとに提供する。		
参考文献		
心理学概論・学びと知のイノベーション(小野寺孝義 磯崎三喜年(編)小川俊樹 ナカニシヤ出版 2011発行)		
履修条件・留意事項等		
学習内容の理解と定着を図るため準備学習、事後学習を重視し学習規律を守り提出物は期限を厳守する。授業中は自ら意見表明するなど能動的な参加態度を必須とする協同的な学びにより、「心理学概論」への理解を深めて頂きたい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		総合教養講座				ナンバリング	1100
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	白戸 力弥、松岡 審爾、大森 圭、小塚 美由記、渡部 俊弘						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、大学での学習から生活、さらに課外活動や大学祭、建学の理念など広範な分野を理解を深める。本科目の履修により、今後4年間の大学生活がより有意義なものになるよう、新入生を導く道標を示す授業である。文章作成能力、プレゼンテーション能力を修得するための科目である。また、ディプロマポリシーの「医療・看護に関わる社会や時代の変化の本質を考究でき、豊かな人間性と高い倫理観、社会的責任感を持ち、時代の変化に合わせて主体的に社会を支えることができる」に関連する。							
授業の概要							
本科目では、初年次教育として本学の学生としての所属意識を育み、学生生活をどう有意義に過ごすか意識化することを目指す。また、これからの社会の変化に対応できる学際的で教養豊かな人間性を養い、本質的な物の見方、捉え方をより豊かなものとし、不確実な時代を自分らしく生きるための柔軟性と自立性を養うことを目的とする。さらに、SDGsの本質を理解し、地球規模の視野で持続可能性について考え、地域創生の視点で行動できるグローバルな思想を兼ね備えた人材を育成することを目的としている。							
到達目標							
・本学の建学の理念、宗教と食事制限、SDGsの取り組みの重要性を理解できること。 ・4年間を通して、しっかりとした履修計画を立てられること。 ・大学生活を快適に送るために必要な規則を理解し、それに沿った行動を取れること。 ・Google Classroomの利用ができること。 ・図書館を利用し、学習に必要な図書を借りることができること。 ・充実した大学生活を送るため、勉学、課外活動を含めた効率の良い1日の行動計画を立案・実行出来ること。 ・大学を盛り上げるための具体的な提案が出来ること。							
授業の方法							
パワーポイントを用いた授業を行う。また、学内Wi-Fiを用いたICTを用いた授業を行う。さらに、えこりん村でSDGs研修を行う。							
ICT活用							
図書館の利用方法など、一部の授業回で、提示したURLにアクセスし、操作を行ってもらう予定である。また、グーグルフォームなどを使用する							
実務経験のある教員の教育内容							

ゲスト講師として、恵庭市職員による恵庭市の紹介、警察官とIT企業の職員によるインターネット上の脅威と防御方法を予定している。

課題に対するフィードバックの方法

グーグルフォームを用いた授業の感想等を述べてもらい、フィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	北海道文教大学建学の理念 鶴岡夫妻が遺した灯火 学訓「清く 正しく 雄々しく進め」に込められた、真理を探究する明晰な頭脳、誠実な精神、チャレンジ精神を目指す理念を共有する。	本学の創設者である鶴岡夫妻について調べておく。(90分)	各自の目指す職業で鶴岡夫妻の建学理念を実現する方法についてまとめる。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		
第2回	この時代、君はどう生きるか これからの社会、不確実な時代を自分らしく生きるための、本質的な物の見方、捉え方を学ぶ。	これまで読んだ本の中から、自分の生き方に影響を与えたと思える本をもう一度読んでおく。(90分)	これからの自分の進路を見据えながら、事前学習で読んだ本を精読する。授業の感想を提出する。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		
第3回	授業を受講するには① 履修方法・登録方法について、具体的に説明する。(教務課)	学生便覧の「履修ガイド」を読んでおく。(90分)	各自、ユニバーサルパスポートを使用して履修科目を登録する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第4回	授業を受講するには② 履修要件、進級基準や卒業要件について説明する。(教務課)	学生便覧の「履修ガイド」を読んでおく。(90分)	各自、ユニバーサルパスポートを使用して履修科目を登録する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		

第5回	遠隔授業の受講方法について 本学で遠隔授業のツールとして使用しているGoogle Classroomの使用方法について学び、遠隔授業を受講できるようになる。	本学から付与されるGoogleアカウントでログインする。(90分)	各科目のClassroomに参加する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第6回	授業に役立つ図書館の利用法 本学図書館の概要と利用方法について説明する。 レポート作成や発表資料作成で必要になる資料について、蔵書検索機(OPAC)を含めた探し方の方法を習得する。(図書館)	学生便覧の「図書館」の部分を 読んでおく。(90分)	実際に図書館を訪れ、蔵書検索で興味のある本を探してみる。 また、インターネット経由で蔵書を検索してみる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第7回	グローバル化に対応した食知識 グローバル化が進んでいる現代において、外国の食文化や知識を得ることは、どの職業においても円滑なコミュニケーションをとるための一助となる。	宗教によって禁忌とされている食べ物(あるいは食べることが許されている食べ物)について調べておく。(90分)	食事に対する宗教上の戒律の理由についてまとめる。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第8回	サイバーセキュリティについて スマートフォンやパソコン等が普及し誰でも気軽にインターネットを利用できるようになっている一方で、インターネットにまつわるトラブルが増加している。本学では全館Wi-Fiが利用できるためインターネットを安全に使用するためには、より注意が必要である。そこで、無線LANにおいてどのような脅威がありどのように対処すればよいのか、また、無線LANを利用するにあたっての注意事項をゲスト講師を招いて学ぶ。 (NTT東日本、北海道警察サイバーセキュリティ対策本部)	インターネット使用にあたってどのような脅威があるかを調べておく。(90分)	セキュリティ対策や身につけるべき情報モラルを復習しておく。(90分)
担当教員	松岡 審爾		
第9回	学生会・課外活動団体紹介 中央執行委員会の役割と位置付けについて知り、学生としての自覚を持ち、自ら積極的に大学生活をより有意義にするため、各自が出来ることを考える一助とする。(学生会) 各団体の活動内容と団体所属学生の大学生活を紹介し、勉学と課外活動の両立を図るための具体的な方法を把握する。(各団体)	学生便覧で、学生会に関する項目に目を通しておく。また、大学ホームページなどで、本学所属の課外活動団体について調べておく。(90分)	自らの大学生活を有意義なものにするための目標と計画を立てる。また、勉学時間、課外活動、アルバイトなど各自の1日の行動を見直し、有意義な時間を過ごせるよう計画を立てる。(90分)
担当教員	大森 圭		
第10回	大学祭実行委員会紹介 大学祭実行委員会の役割と位置付けと、大学祭の歴史について紹介する。	各大学の大学祭内容について分かる範囲で調べておく。(90分)	各大学の大学祭内容について分かる範囲で調べておく。(90分)
担当教員	大森 圭		

第11回	SNSの利用上の注意について 大学生活におけるSNSの利用上の注意点について理解を深め、良識あるSNSの利用ができるようになる。	現在までのSNSのトラブルで社会的問題となった内容を調べる。(90分)	大学生活で節度のあるSNSの利用法について復習する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第12回	恵庭市の歴史と特徴 恵庭市役所からゲスト講師を招き、これからの4年間のほとんどの時間を過ごす恵庭市について理解を深め、地域社会との連携を深める。 (恵庭市企画課)	恵庭市のホームページなどから、恵庭市の概要、特長について調べておく。(90分)	各自の目指す職業で、恵庭市の未来に貢献する施策を考える。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第13回	えこりん村SDGs研修① (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第14回	えこりん村SDGs研修② (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
第15回	えこりん村SDGs研修③ (1)肉生産、(2)米生産、(3)資材、(4)再生可能エネルギーのテーマを通して、持続可能なエコロジーの取り組みを学ぶ。	SDGsの17の目標、およびえこりん村の取り組みをインターネット等で調べておく。(90分)	共有した他のグループの情報をもとに、研修の復習をおこなう。年間パスポートにより、再度えこりん村を訪れる。研修を受けた感想を提出する。(90分)
担当教員	白戸 力弥		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業の感想等の提出、および授業参加の積極性から総合的に判断する。	

その他	0	
教科書		
なし		
参考文献		
渡部俊弘／人とつながる「笑いと涙」の40年―恵庭で描く地方大学のプラットフォーム構想／丸善プラネット 渡部俊弘／トシさんが行く！～北海道の食の礎を築いた鶴岡トシのパワフル人生記～／北海道文教大学出版会		
履修条件・留意事項等		
ゲスト講師等の都合により、授業計画の順序通りの内容とならないため、決定次第、別紙で連絡する。合理的な理由による欠席は点数を考慮するので欠席届を出すこと。13～15回の授業は、えこりん村での日帰り研修を行う。日程は別途、連絡する。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		文章表現				ナンバリング	1102
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	矢部 玲子						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、幅広い教養を身につけるために、社会で必要となるスキルのひとつである文章作成能力を習得する科目である。							
授業の概要							
この授業は、大学生活の基本となる日本語の文章表現能力を養成する。日本語そのものの基本を押さえた上で、思考法を鍛え、レポート・論文の作成力を修得し、日本語の基礎的な法則を確実に定着させながら、日本語の文章表現の能力を高める。大学生のラーニング・スキルとしての基本になる文章表現能力の学修は、このあとに続く全ての科目の基礎能力となる。また、社会で必要となるスキルのひとつでもある文章作成能力は、外国語学習の基礎力であり、様々な文章の「型」を文章作成と添削および相互批評を組み合わせた実作学習によって習得する。							
到達目標							
・社会に存在する様々な文章の「型」について分類することができるようになる。 ・各講義の目標とする文章表現技術を習得し、実際的な文章作成ができるようになる。 ・文の正誤・適否が区別できるようになる。							
授業の方法							
1.講義形式で、作成する文章の形式を中心に説明を行う。 2.説明に基づいて実際に各自文章作成・添削・相互評価を、毎時間行う。 3.インタビュー・ドキュメンテーション・投稿・観察等を実際に行い、その結果を文章作成に反映させる。 4.全授業で数回、文章作成能力到達度チェックを行う。 5.完成させた文章は毎時間提出して担当教員の添削を受け、指定されたものをすべて締め切りまでに提出する。							
ICT活用							
必要に応じて遠隔授業システム等を用いた授業を実施し、ICT技術の修得を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

公立中学校・高等学校の国語科教師としての勤務経験が約10年あり、学校教育、中でも国語科教育に幅広い知識と経験を有する。左記を活かして指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

作成した課題は原則マンツーマンのセッションを経て添削し受理する。作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	手紙文の型 手紙文の形式を理解し、心情を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.6-11の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第2回	ビジネス文書の型 ビジネス文書の形式を理解し、用件を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.12-15の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第3回	三段構成の型 「三段構成で書く」、「常体文で書く」、「一文を40字以内で書く」ことを理解し、これらの書式による文章作成を学ぶ。	PP.16-19の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第4回	原稿用紙を用いた文章作成の型 意見文視写を通して、原稿用紙を用いた日本語表記法に沿った文章作成を学ぶ。	PP.20-23の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第5回	新聞読者投稿欄の文章の型 新聞投書欄の文章作成を通して、客観的な視点で事実を書くことを学ぶ。	PP.24-25の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第6回	見ることと書くことの関係(1) 報道文 身近な事件に関するメモをもとに、報道文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことを学ぶ。	PP.26-27の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第7回	見ることと書くことの関係(2) 観察文 身近な対象に関する観察メモをもとに、観察文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことに習熟することを学ぶ。	PP.28-29の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第8回	インタビュー書き起こし文の型 履修者同士のインタビューと紹介文の作成を通して、聞き書きの手法による文章作成を学ぶ。	PP.30-33の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第9回	聞き書きの型(1) 前回の「インタビュー」を発展させ、「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を聞き書きし、記録する方法を学ぶ。	PP.34-35の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第10回	聞き書きの型(2) 「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を本人に代わって記録させてもらい、聞き書きとして完成させることを学ぶ。	PP.36-37の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第11回	論説文の型 論説文の型に沿って文章を作成することを通して、事実と意見を適切に書き分ける方法を学ぶ。	PP.38-41の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第12回	看護観の型 看護の立場を能動の視点から書くという形式による文章作成について学ぶ。	PP.64-65の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第13回	事例研究の型(1) 事例研究(case study)の形式に沿って文章を作成することを通して、専門職に求められる文章の形式について学ぶ。	PP.66-71の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第14回	事例研究の型(2) 事例研究(case study)の形式に沿って作成した文章を完成することを通して、専門職に求められる文章の形式についてより深く学ぶ。	P.72の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第15回	添削と推敲一まとめー これまで学んだ文章表現にかかわる知見に基づき、習得した文章表現能力について、添削と推敲を通して自己評価することを学ぶ。 指定された課題を締め切り時まで提出する。	P.73の熟読・理解・課題作成。 指定された提出課題の完成。(90分)	指定された提出課題の完成・提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	指定された締め切りまでに、作成した文章のうち指定されたものを提出する。 指示された課題をすべて提出した場合評価の対象とする。	

その他	0	出席率66%以上を評価対象とする。
教科書		
「型」で身につける文章作成技術／矢部玲子／大学図書出版		
参考文献		
必要に応じて提示する。 必要に応じて教材配信システム等ICTを活用する。		
履修条件・留意事項等		
状況に応じて講義内容や順番等が変更される場合がある。 必要に応じて教材配信システムを活用する。 出席率66%以上で、指示された課題をすべて提出した場合、評価の対象とする。 連絡はGoogle classroom で行う。メールが届いたか、返信は必要か、等を常にチェックするように。 メールでの問合せ等には必要に応じて対応する。 メールでの言葉遣いには十分に注意すること。不適切な言葉を使用した場合は、減点の対象とし、度重なる場合は単位認定しない場合もある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 社会と制度					
科目名		キャリア入門				ナンバリング	1132
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	木村 悠里菜						
授業の位置づけ							
本科目は、初年次教育の一貫として、大学生活の充実や社会で活躍するために、「キャリア」・「キャリアデザイン」の重要性を学ぶ。加えて、これらにとって必要なスキルのひとつである「人間関係づくりとコミュニケーション」を理解するための科目である。なお本科目は、「キャリア形成」と連携している教養科目である。							
授業の概要							
グローバル化と高度情報化が益々進展する現代社会においては、自己のアイデンティティを確立することが重要である。そのために、我々を取りまく文化、環境を再認識しながら自らの生き方や生活、仕事について考えることを目指す。							
到達目標							
・「キャリア」や「キャリアデザイン」を説明できる。 ・自己理解の方法(「人生曲線」、「ジョハリの窓」等)、「計画的偶発性」について述べることができる。 ・「人間関係づくりとコミュニケーション」の5つの視点、「社会人基礎力」を説明できる。							
授業の方法							
・パワーポイントによるプレゼンテーション資料と教科書、動画を併用しながら、講義形式とアクティブラーニングの手法を取り入れた演習方式の授業を実施する。 ・理解度確認のために、期末レポートを実施する。							
ICT活用							
・パワーポイントによるプレゼンテーション資料と教科書、動画を併用しながら、視覚的に内容が理解しやすい授業を実施する。 ・Google Classroomを活用し、配布資料を共有するため、授業前に各自印刷し持参する。							
実務経験のある教員の教育内容							

消費財メーカーのマーケティング職や外資系コンサルティングファームでの経営コンサルタント職等の実務経験を活かして、「キャリア」・「キャリアデザイン」・「人間関係づくりとコミュニケーション」について実例を交えた具体的な授業を実施する。

課題に対するフィードバックの方法

各講義において振り返りを実施し、学生の理解度の確認を行う。加えて質問については、解説を適宜実施する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーションの実施と、「キャリア」・「キャリアデザイン」などを理解する。	これまで「キャリア」という言葉を使ったり聞いたりした事があれば、その場面はどのようなものだったかを具体的に思い出す。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第2回	働くことの意味などを考えた上で、我々を取り巻く市場環境や「社会人基礎力」などを学ぶ。	高校生と大学生の違いと、働くことの意味について、調べ、考える。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第3回	自己理解の方法の全体像を理解した上で、テストの実施を通して学ぶ。「計画的偶発性」などを学ぶ。	「私は…」から始まる文で、自己紹介の内容を考える。(10個以上)(90分) 例:私は、北海道文教大学の学生です。など	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第4回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のきづくの視点などの概要を理解する。	生まれてから現在までの人生の中で、印象に残った出来事を整理する。(90分) 例:高校に合格した。失恋した。など	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			

第5回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のうけいれるの視点などの概要を理解する。	自分自身の日頃のコミュニケーション方法を振り返る。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第6回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のむきあうの視点などの概要を理解する。	これまでの人生において苦痛や怒り、悩み・不快・不安のあった出来事と、その出来事をどうしてほしかったのかを考える。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第7回	「人間関係づくりとコミュニケーション」のみつめる・みとおすの視点などの概要を理解する。	自分自身の興味・性格・能力・動機を整理する。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
第8回	これまでの講義の総括を実施した上で、大学4年間の目標などを考える。	大学4年間で成し遂げたいことを考えた上で、そのための方法を調べる。(90分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	60	期末レポート	
その他	40	準備学習・事後学習の状況・授業態度や意欲など	
教科書			

人間関係づくりとコミュニケーション/山内雅恵(監修)、船木幸弘(編著)他/金子書房

参考文献

授業内で順次紹介する。

履修条件・留意事項等

- ・各講義で使用する資料はGoogle Classroom上にアップロードするため、各自印刷し持参する。
- ・出欠管理は、講義内で実施する予定である。
- ・講義中に私語が多い学生や講義とは関係のない行為をする学生は、退室となり欠席扱いとなる場合がある。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 社会と制度					
科目名		現代医療と福祉・介護				ナンバリング	1122
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	今泉 博文						
授業の位置づけ							
各該当学科のディプロマ・ポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを鑑み、地域包括ケアシステムにおいて高齢者障害者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、[住まい][医療][介護][看護][予防][生活支援]が切れ目なく一体的に提供ができ、「[心/意欲/態度]が養われる重要な科目である。更に日本の社会事情を広く理解するうえで必要な知識としての[医療/福祉/介護]に焦点をあて、近未来の社会制度を思考し、構築するための基礎的能力の向上を目指すとともに科学的思考力と創造的思考力を活用して各専門職の発展と社会へ貢献できる研究の基本的な能力(看護においては看護過程の展開や臨床判断).を身につける重要科目でもある。							
授業の概要							
少子高齢化、人口減、労働力の減退などの社会構造が大きく変容している背景により、現代医療は、福祉や介護との連続性と包括的な制度や考え方が大きく変遷している。このようなことから、医療や福祉・介護に携わる者は、制度論だけではなく、幅広く社会を俯瞰する知識や倫理観を持ち備えることが必要である。これらをふまえ、授業では医療、福祉、介護の現状を理解し、日本が現在抱えている諸問題について考え、その解決策を探る。また、日本と諸外国における医療、福祉、介護制度を比較し、日本の特徴を理解する。同時に今後の日本の理想的な医療、福祉、介護のあるべき姿を考える。							
到達目標							
1. 現代日本の医療、福祉、介護の現状を理解し、その諸問題を説明することができる。 2. 日本と諸外国の医療、福祉、介護制度の特徴や違いを説明できる。 3. 今後の日本における医療、福祉、介護のあるべき姿を考え、説明することができる。							
授業の方法							
各種メディアを利用した座学・講義である。 講義中に課題を提示し、それに対するコメント等を提出させる。							
ICT活用							
授業中の課題の一部にグーグルクラスルームを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

国立病院機構施設・ナショナルセンターの施設11か所で勤務した経験を活かして「医療・福祉・介護」から日本の生活環境と社会環境について授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

講義内容についての簡単なコメントを記載させ、その内容について講義内にフィードバックする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 少子および高齢化社会を迎えている日本が抱える諸問題を理解する。	少子および高齢化社会の問題点について調べておくこと。(90分)	医療・福祉領域から見た問題点についてまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第2回	20世紀の医療制度(介護保険施行以前)を理解する。	医療保険制度について概要を調べておくこと。(90分)	介護保険制定以前の問題点についてまとめること。(90分)
担当教員			
第3回	21世紀の医療制度(介護保険施行後)および先端医療について理解する。	なぜ医療制度・介護保険制度が施行されたのか資料を検索して考えてくること。(90分)	先端医療は生活にどのような恩恵を与え、どのような問題を生んだのか考えること。(90分)
担当教員			
第4回	医療制度における保健診療を理解する。	医療制度が論じられている資料を見ておくこと。(90分)	現状の医療制度について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第5回	「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について理解する。	インターネットなどを利用して、「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について概要を確認しておくこと。(90分)	「公的介護保険制度の現状と今後の役割」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第6回	2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策について理解する。	インターネットなどを利用して、「2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策」について概要を確認しておくこと。(90分)	「2025年問題が医療に与える影響と、病院に必要となる対策」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第7回	医療領域における社会福祉士業務および関連法規について理解する。	インターネットなどを利用して、「医療領域における社会福祉士業務および関連法規」について確認しておくこと。(90分)	「医療領域における社会福祉士業務」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第8回	「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」(平成30年法律第104号。以下「成育基本法」。)を踏まえて、成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針を理解する。	インターネットなどを利用して、「成育基本法」について確認しておくこと。(90分)	「成育基本法」および成育医療等について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第9回	「DOHaD (Developmental origin of health and disease)次世代の非感染性疾患」を理解する。	「DOHaD 」について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	「DOHaD (Developmental origin of health and disease)次世代の非感染性疾患」について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	小児医療と小児病院:なぜ、小児病院は存在するのか?について理解する。	小児医療および小児病院について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	小児医療と小児病院:なぜ、小児病院は存在するのか?を自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第11回	医療的ケア児の支援について地域社会における共生の実現に向けて 新たな障害保健福祉施策を講ずるための 関係法律の整備に関する法律についてを理解する。	医療的ケア児の支援および関係法律の整備に関する法律について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	医療的ケア児の支援について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	障害福祉サービスの新展開について理解する。	現状の障害福祉サービスについて、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	障害福祉サービスの新展開について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第13回	精神疾患患者の医療について、理解する。	精神疾患および精神疾患患者の医療について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	精神疾患患者の医療について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第14回	精神科医療のこれまでの到達点と解決すべき課題～多職種連携による身体管理の重要性～について、理解する。	精神科医療(チーム医療)を中心にインターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	精神科領域におけるチーム医療について、自分の考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	重症化予防の取組について生活習慣病(心不全)心不全と上手に付き合うためには、心不全患者の運動療法について理解する。	生活習慣病(心不全)心不全および心不全患者の運動療法について、インターネットなどを利用して確認しておくこと。(90分)	生活習慣病(心不全)心不全および心不全患者の運動療法について自分の考えをまとめておくこと。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	80	授業において提示される課題等(レポートも含む)	

その他	20	・授業への参加態度 ・レポート課題等の提出期限を厳守すること
教科書		
なし		
参考文献		
プリント配布		
履修条件・留意事項等		
授業には積極的に参加すること。		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		基礎化学				ナンバリング	1154
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	藤井 駿吾、佐々木 将太						
授業の位置づけ							
化学的知識を学ぶことによって、幅広い教養を身に付けるための科目である。生化学、基礎栄養学などの科目に必要とされる基礎的知識を学ぶ科目である。理学療法学科ではディプロマ・ポリシーの「理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている」と、作業療法学科では「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている」と特に関連がある科目である。							
授業の概要							
私たちの身近に存在する物質や身の回りで起こる現象が、どのように化学と結びついているのかを理解するために、化学の基礎知識を習得する。 今後専門科目を履修していく上で、化学に関する基礎学力の不足によって支障が生じないように化学の基礎知識を習得する。特に、モル概念、化学反応式の量的関係、濃度等の計算問題をしっかり理解する。							
到達目標							
1. 原子の構造から、イオン、原子価を理解し、化学結合について説明できる。 2. 化学反応式の表す意味を理解し、反応式の量的関係の計算ができる。 3. 濃度計算ができる。(パーセント濃度、モル濃度) 4. 酸・塩基の定義を理解し、水素イオン濃度とpHの値を求めることができる。 5. 飽和炭化水素、特にアルカンの分子式、示性式、構造式を書くことができる。							
授業の方法							
パワーポイントによる講義形式で、必要に応じてプリント配布する。 理解度を確認するため、確認テストを実施する。							
ICT活用							
確認テストや、授業資料の配布にGoogleフォームやGoogle Classroomなどを使用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
Googleフォームによる確認テスト時は、回答送信後、得点および誤答に対する解説を返信する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	・オリエンテーション ・原子の構造について学習する ・電子配置について学習する。	「原子核」、「電子」、「陽子」、「中性子」、「質量数」などの化学用語及び電子配置図について調べておく。(90分)	講義中に出題された問題を、自分の力で再度解答する。電子配置図を正確に書けるようにする。(90分)
担当教員	佐々木 将太		
第2回	(佐々木) ・イオンについて学習する。 ・電子式の書き方について学習する。(有機化学の分野でも使用) ・化学結合について学習する。 (1) イオン結合 (2) 共有結合(同種原子)	イオン結合、共有結合について調べておく。「電子式」「構造式」の書き方について調べておく。(90分)	「電子式」「構造式」を確実に書くことができる。化学式の表記の仕方を確実なものにする。(90分)
担当教員	佐々木 将太		
第3回	(佐々木) ・化学結合について学習する。 (3)共有結合(異種原子) ・化学式の読み方について、別紙プリントを配布して学習する。 ・分子量の求め方を学習する。	「共有結合」特に単結合、二重結合について、調べておく。分子量の求め方を調べておく。(90分)	「共有結合」について、説明できるようにする。化学式が確実に読め、かつ書くことができ、分子量を求めることができる。(90分)
担当教員	佐々木 将太		
第4回	(佐々木) ・物質(モル)の概念について学習する。 ・物質(モル)の求め方について学習する。	「アボガドロ数」と「モル」の計算上での関係を調べておく。(90分)	講義で出題された問題を復習することで、考え方、求め方を確実なものにする。(90分)
担当教員	佐々木 将太		

第5回	(佐々木) ・化学反応式の量的関係について学習する。 (化学反応式を使った計算問題を解く)	化学反応式の係数を持つ意味について、計算にどのような使い方をするか確認しておく。(90分)	「モル」「体積」「アボガドロ数」「分子量」の相互関係を確実に理解し、計算で求めることができる。(90分)
担当教員	佐々木 将太		
第6回	(藤井) ・質量パーセント濃度についてしっかり学習する。	質量パーセント濃度の求め方について、高校時の教科書、参考書等で事前に確認しておく。(90分)	講義中に出題された問題や配布プリントを必ず復習し、自力で問題を確実に解くことができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第7回	(藤井) ・モル濃度についてしっかり学習する。 (1) 固体 (2) 液体	モル濃度の求め方について、高校時の教科書、参考書等で事前に確認しておく。(90分)	講義中に出題された問題や配布プリントを必ず復習し、自力で問題を確実に解くことができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第8回	(藤井) ・酸と塩基について学習する。 ・中和反応について学習する。	中和滴定を利用して、濃度の求め方を確認しておく。 特に、食酢中の酢酸の定量について確認しておく。(90分)	講義中に出題された問題や配布プリントを必ず復習し、自力で問題を確実に解くことができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第9回	(藤井) ・水素イオン濃度について学習する。 ・酸化・還元について学習する。	水素イオン濃度とpHの関係について調べておく。 酸化か還元かの判定方法について事前に調べておく。(90分)	講義中に出題された問題を復習し、pHと水素イオン濃度の関係を理解する。 酸化・還元の判断も確実にできる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第10回	(藤井) ・有機化合物の歴史について学習する。 ・有機化合物(炭化水素化合物)の分類について学習する。 ・有機化合物の表し方(分子式、示性式、構造式)について学習する。	「分子式」「示性式」「構造式」の表し方の違いについて事前に調べておく。(90分)	簡単な有機化合物の「示性式」「構造式」を書くことにより、違いを確認し分類できる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		

第11回	(藤井) ・飽和炭化水素のアルカンについて学習する。 (1)アルカンの性質 (2)アルカンの反応 (3)構造異性体	身近に存在する有機化合物である「アルカン」の性質、特徴及び用途について調べておく。(90分)	講義の内容を復習し、特に構造異性体の構造式を確実に書くことができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第12回	(藤井) ・IUPAC命名法について学習する。 ・不飽和炭化水素(アルケン)について学習する。 (1)アルケンの性質 (2)アルケンの反応	IUPAC命名法、アルケンの性質、特徴及び付加反応について事前に調べておく。(90分)	IUPAC命名法を用いて確実に物質名を答えることができる。付加反応について理解する。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第13回	(藤井) ・アルコールについて学習する。 (1)アルコールの利用方法 (2)アルコールの分類 (3)アルコールの命名法 (4)線描構造式	基本的なアルコールである「メタノール」「エタノール」「プロパノール」について調べておく。(90分)	講義内容を復習し、「アルコールの酸化」「アルコールの命名法」等自分の言葉で説明することができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第14回	(藤井) ・芳香族炭化水素について学習する。 (1)歴史 (2)構造異性体・命名法 (3)置換反応	「芳香族炭化水素」の構造の特徴や構造異性体について調べておく。(90分)	講義の中で出題された問題をしっかりと復習し、構造異性体、置換反応について、説明することができる。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
第15回	(藤井) ・身の回りに存在する芳香族炭化水素について学習する。	身の回りに存在する代表的な芳香族炭化水素について調べておく。(90分)	生活環境の中に多くの有機化合物が存在することを知ることにより、今後の生活での意識改革に繋がるとよい。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業中のランダムな回で行う確認テストの合計で評価する。	

その他	0	特になし。
教科書		
特に指定しない。		
参考文献		
高校で使った「教科書」または「参考書」があれば良い。		
履修条件・留意事項等		
特になし。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		情報処理リテラシー(2組)				ナンバリング	1160
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、大学の学修や社会に必要なスキルである情報リテラシーを修得する科目である。また、理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている」と関係がある科目である。また、作業学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている。」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている。」と特に関係がある科目である。「数理・データサイエンス・AI実践」につながる科目である。							
授業の概要							
コンピュータを用いた表計算、プレゼンテーションの基本操作を学ぶことにより、情報の分析方法およびプレゼンテーション方法を習得する。							
到達目標							
1. 表計算ソフトExcelを用いた基本的な計算やグラフ作成を行うことができる。 2. Excelによりデータの加工、可視化を行いデータの特徴を抽出することができる。 3. プレゼンテーションソフトPowerPointを用いて、広く情報を伝えるためのプレゼンテーションを作成できる。							
授業の方法							
Excelを用いた分析、Powerpointを用いた表現は各人がパソコンを操作して習得する。補足的な説明が必要な事項についてはパワーポイントを用いて講義形式で行う。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全8回)。パソコンを用いた演習を行う(全8回)。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
'フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【データ活用プロセス】データ活用の概略についての知識を得る。 【情報の分析:Excelの基本1 データと数式の入力】データ入力および効率的な数値入力(オートフィル)を習得する。数式の入力方法・コピーを習得する。相対参照と絶対参照の使い分けを習得する。	シラバスを読み、教科書のp20～p26とp91～p95を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	【情報の分析:Excelの基本2 関数の使用法】ホームタブの合計ボタンから呼び出す関数の使用法、数式バーの関数挿入ボタンからの関数の使用法を習得する。数値分析に必要な関数の探し方を理解する。統計関数、数学／三角関数の使い方を習得する。	教科書のp96～p100を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	【情報の分析:Excelの基本3 検索関数、条件分岐、データベース】あるデータに別のデータ列を結合するVLOOKUP関数を習得する。条件に応じて処理を変えるIF関数の使い方を習得する。リスト形式のデータベースの基本的な操作である並べ替え、抽出を修得する。	教科書のp99～p105を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	【情報の分析:Excelの基本4:ピボットテーブル、グラフ作成】データベースから集計表を作成できるピボットテーブル機能を修得する。Excelを用いた棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、棒グラフ、散布図などのグラフの特徴を学びそれらの作成方法を習得する。	教科書のp37～p41,p44～p48とp106～p116を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【情報の分析:データ分析演習】教科書記載の顧客分析に関するダミーデータを使用して、データ分析に必要な手順を学ぶ。インターネットの普及に関連した実データをもとにしてデータ分析の実際を学ぶ。	教科書のp42～p43とp52-p63とp127～p129を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本1ースライドの作成、ビジュアル表現】スライドの作成、コピーや移動方法、スライドの編集方法を習得する。ビジュアルな表現を実現するワードアート、SmartArtの作成法、および画像の挿入、Excelの表やグラフを挿入する方法を習得する。	教科書のp168～p174を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本2ー効果の設定と実行操作】スライドへの図形の挿入方法を習得する。スライドショーにおける画面切り替え効果とアニメーション効果の設定を習得する。スライドショーの実行操作を習得する。	教科書のp165～p167を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【情報の分析および結果の表現演習】データ分析からそれをもとにしたスライド作成までの演習を行う。	あらかじめ提示されたテーマのデータを収集する方法を調べておく。また、教科書のp34とp164を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

はじめの第一歩 基礎からはじめるデータサイエンス／ノア出版

参考文献

なし

履修条件・留意事項等

なし

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		情報処理リテラシー(1組)				ナンバリング	1160
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、大学の学修や社会に必要なスキルである情報リテラシーを修得する科目である。また、理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている」と関係がある科目である。また、作業学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている。」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている。」と特に関係がある科目である。「数理・データサイエンス・AI実践」につながる科目である。							
授業の概要							
コンピュータを用いた表計算、プレゼンテーションの基本操作を学ぶことにより、情報の分析方法およびプレゼンテーション方法を習得する。							
到達目標							
1. 表計算ソフトExcelを用いた基本的な計算やグラフ作成を行うことができる。 2. Excelによりデータの加工、可視化を行いデータの特徴を抽出することができる。 3. プレゼンテーションソフトPowerPointを用いて、広く情報を伝えるためのプレゼンテーションを作成できる。							
授業の方法							
Excelを用いた分析、Powerpointを用いた表現は各人がパソコンを操作して習得する。補足的な説明が必要な事項についてはパワーポイントを用いて講義形式で行う。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全8回)。パソコンを用いた演習を行う(全8回)。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
'フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【データ活用プロセス】データ活用の概略についての知識を得る。 【情報の分析:Excelの基本1 データと数式の入力】データ入力および効率的な数値入力(オートフィル)を習得する。数式の入力方法・コピーを習得する。相対参照と絶対参照の使い分けを習得する。	シラバスを読み、教科書のp20～p26とp91～p95を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	【情報の分析:Excelの基本2 関数の使用法】ホームタブの合計ボタンから呼び出す関数の使用法、数式バーの関数挿入ボタンからの関数の使用法を習得する。数値分析に必要な関数の探し方を理解する。統計関数、数学／三角関数の使い方を習得する。	教科書のp96～p100を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	【情報の分析:Excelの基本3 検索関数、条件分岐、データベース】あるデータに別のデータ列を結合するVLOOKUP関数を習得する。条件に応じて処理を変えるIF関数の使い方を習得する。リスト形式のデータベースの基本的な操作である並べ替え、抽出を修得する。	教科書のp99～p105を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	【情報の分析:Excelの基本4:ピボットテーブル、グラフ作成】データベースから集計表を作成できるピボットテーブル機能を修得する。Excelを用いた棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、棒グラフ、散布図などのグラフの特徴を学びそれらの作成方法を習得する。	教科書のp37～p41,p44～p48とp106～p116を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【情報の分析:データ分析演習】教科書記載の顧客分析に関するダミーデータを使用して、データ分析に必要な手順を学ぶ。インターネットの普及に関連した実データをもとにしてデータ分析の実際を学ぶ。	教科書のp42～p43とp52-p63とp127～p129を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本1ースライドの作成、ビジュアル表現】スライドの作成、コピーや移動方法、スライドの編集方法を習得する。ビジュアルな表現を実現するワードアート、SmartArtの作成法、および画像の挿入、Excelの表やグラフを挿入する方法を習得する。	教科書のp168～p174を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【情報の分析結果の表現:PowerPointの基本2ー効果の設定と実行操作】スライドへの図形の挿入方法を習得する。スライドショーにおける画面切り替え効果とアニメーション効果の設定を習得する。スライドショーの実行操作を習得する。	教科書のp165～p167を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【情報の分析および結果の表現演習】データ分析からそれをもとにしたスライド作成までの演習を行う。	あらかじめ提示されたテーマのデータを収集する方法を調べておく。また、教科書のp34とp164を読んでおく。(90分)	授業に関連する教科書の範囲を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

はじめの第一歩 基礎からはじめるデータサイエンス／ノア出版

参考文献

なし

履修条件・留意事項等

なし

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		生命科学				ナンバリング	1150
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	荒井 克俊						
授業の位置づけ							
科学的知識を学ぶことにより、幅広く教養を身につけるための科目である。 「解剖学」、「生理学」、「生化学」(健康栄養)、「解剖学I」、「解剖学II」、「生理学I」、「生理学II」(看護、リハビリ)、「免疫学」(看護)、「教科教育法 理科」(こども発達)と連携している教養科目である。							
授業の概要							
生命科学の内容は私たちの健康、医療、食生活、生活環境などの日常生活に密接に関わっているだけではなく、持続的な社会の発展や生物多様性保全など地球生態系にも関係するヒトがよりよく生きるための知識である。本科目では、専門科目の学習に発展・深化しうる身近なトピックスを取り上げて、授業を進める。生命科学の中でも、特に細胞、遺伝、DNA、ゲノム、発生、生殖、内分泌および免疫に関する内容に重点を置いて、高等学校で生物を履修しなかった学生も十分理解できるように、初歩的な事項から、最先端の研究まで、段階を踏んで教授する。また、メディア等で話題になるバイオテクノロジーとその社会での応用についても学ぶ。							
到達目標							
生命とは何かということに興味をもつことができる。 生物の体の構造と仕組みを説明できる。 メディア等で取り上げられる生命科学の成果を積極的に理解する態度をもつことができる。 科学的、論理的思考を身につけ、自身の専攻に関連するバイオテクノロジーの応用や生命倫理に関する議論に参加できる。							
授業の方法							
教科書をもとに、パワーポイントスライドの投影により講義を進める。 講義終了前に、練習問題を中心としてクイズを行い、その解答解説により講義内容の理解を深める。 これらクイズは自己採点として、成績には反映させない。 最終回の講義では小グループディスカッションによる課題研究とその成果プレゼンテーションと討議を中心としたアクティブラーニングを行う。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
クイズの解答を講義時間内に解説するとともに、クラスルームに掲示する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス：担当講師の自己紹介に続き、本科目の位置づけ、概要、到達目標、授業方法、成績評価をシラバスに基づいて説明する。アンケート等により、高等学校までに得た生物の知識を確認する。生命現象に見られる共通性と多様性について考える。	シラバスおよび教科書第1章2-6頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	生命科学を学ぶ意味をノートに記述する。(90分程度)
担当教員			
第2回	細胞生物学の基礎：原核生物と原核生物の違い、細胞の構造、細胞内小器官の形態と機能、ミトコンドリア、核と染色体と遺伝子の関係について学ぶ。	教科書第1章7-11頁を読み、疑問点をまとめる。さらに、細胞説とは何かを調べてくる。(90分程度)	ノートを整理し、核と染色体の関係、細胞内小器官の働きを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第3回	遺伝学の基礎：メンデルの法則を確認し、改訂された遺伝用語(顕性、潜性)を説明する。体細胞分裂、細胞周期を学び、減数分裂における染色体の挙動とDNA量の変化が体細胞分裂とどの様に違うか理解する。	教科書第4章48-60頁を読んで、遺伝の法則について疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第4回	分子生物学の基礎：遺伝物質がDNAであることを示唆したアベリーの実験、シャルガフの法則、ハーシーとチェイスの実験を解説した後、DNAの構造、転写・翻訳、タンパク合成に到る過程を説明する。	教科書第1章12-17頁を読んで、予め、ロザリンド・フランクリンについて調べてくること。(90分程度)	ノートを整理し、DNAからどのようににアミノ酸配列が決められるかを説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			

第5回	ゲノム科学の基礎: ゲノムとは何かを説明した後、自然界におけるゲノム量の変異について触れ、さらにゲノムプロジェクトを解説する。遺伝子組み換え技術、PCR技術、シーケンス技術の概要を説明する。DNA多型、シンデニーを説明した後、例えば、遺伝病の原因遺伝子をどのように特定するかについて、概要を述べる。また、体重や身長などの量的な形質の遺伝子による支配についても学ぶ。	教科書第2章22、23頁、第4章58頁、第5章66-68頁を読んで、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、DNA多型の分析方法を簡単に説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第6回	発生生物学の基礎: 受精卵は卵割(細胞分裂)を続け、細胞が分化していくことにより、背腹と左右の軸ができ、誘導の現象を介して、複雑な体が作り上げられていく。発生が遺伝子発現のプロセスであることを理解する。	教科書第3章32-46頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、受精卵から動物の体になるプロセスを理解する。(90分程度)
担当教員			
第7回	生殖生物学の基礎: ヒトや多くの動物では雌と雄の比率はほぼ1:1である。受精の瞬間に遺伝的に雌であるか、雄であるか決まること(性決定)の仕組みと性決定遺伝子の関係、また、卵巣と精巣が形成され機能する生理学的な過程(性分化)について学び、卵と精子がどのように形成され、子孫を残すのかを理解する。	教科書第11章147-158頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、雌と雄の比率(性比)が1:1となる仕組みを説明できるようにする。あわせて、第1回から第7回の講義内容、関連するクイズの問題を復習する。(90分程度)
担当教員			
第8回	第一回小テスト: 第1回から第7回の授業内容に関する筆記試験(30分程度) 試験答案回収後に、問題と解答の解説を行う。	ノートを整理して、第1回から第7回の講義内容、関連するクイズの問題を復習する。(90分程度)	自分の答案について、再度解答し、不正解の場所があれば、復習する。(90分程度)
担当教員			
第9回	内分泌学の基礎: 外分泌と内分泌の違い、ホルモンの定義を解説する。内分泌による恒常性維持(ホメオスタシス)の概念を解説した後、主要な内分泌器官を挙げて、そこで産生されるホルモンの種類と働きを概説する。	教科書第10章139-145頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、主要な内分泌器官とホルモンについて説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			
第10回	免疫学の基礎: 病原体と感染症、自然免疫と獲得免疫、自己と非自己の認識メカニズム、MHCと拒否反応、アレルギーについて基礎的、初歩的事項についてのみ教授する。	教科書第13章175-188頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、抗原と抗体について説明できるようにする。(90分程度)
担当教員			

第11回	バイオテクノロジー入門(1):実験動物に利用される純系とは何かを説明した後、同じ遺伝子型を持つ個体(クローン)を得る方法としての単為発生技術と体細胞核移植技術を説明する。さらに、ES細胞とiPS細胞について説明し、細胞の初期化を考える。また、凍結保存技術の現状と可能性を述べる。	教科書第3章46頁、第5章62-65頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、ES細胞とiPS細胞の違いを説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第12回	バイオテクノロジー入門(2):遺伝子組換え生物の作り方と現状、これらの規制のためのカルタヘナ条約を解説する。最新のゲノム編集技術について初歩的事項を説明する。このほか不妊治療の技術としての顕微授精、人工授精等についても解説する。	教科書第2章25-28頁、第5章69-74頁、第7章103頁を読み、疑問点をまとめる。(90分程度)	ノートを整理し、遺伝子組換え生物、ゲノム編集生物の規制について簡単に説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第13回	バイオテクノロジー入門(3):我々の食を支える農業、畜産、水産養殖では、栽培した植物、馴致した家畜、人工的に作った養殖魚の品種改良(育種)が欠かせない。育種を進めるために重要な、選抜育種、交雑育種、倍数体育種について具体例を挙げて説明し、我々の生存が生命科学の土台の上にあることを認識する。	巨峰ブドウと信州サーモンについて調べ、何がこれら二つの品種に共通する生命現象であるかを考えてくる。(90分程度)	ノートを整理し、人間の歴史、文化、現代の社会生活における育種の役割を説明できるようになる。(90分程度)
担当教員			
第14回	第2回小テスト:第1回から第7回、第9回から第13回の授業内容に関する筆記試験(30分程度) 試験答案回収後に問題と解答の解説を行う。 第15回授業の班分けとグループワークに関する解説を行う。	ノートを整理し、出題範囲の講義内容と関連するクイズの問題を復習する。(90分程度)	自分の答案について再度解答し、不正解の場所があれば、復習する。(90分程度)
担当教員			
第15回	生命科学と生命倫理:設定された課題について、グループワークを通じて、各班の考え方をまとめ、パワーポイント等でプレゼンテーションを行い、参加者全員でディスカッションする。 レポートの課題を提示する。	各班ごとに課題解決に関するグループディスカッションを行い、考えをまとめ、パワーポイントなどプレゼンテーションの準備をおこなうとともに、発表練習をする。(90分程度)	ディスカッションの要点を整理し、自分なりの考え方をまとめる。(90分程度)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	第8回、第13回における筆記試験により評価する	

その他	30	課題レポート 決められた書式のレポートを期日までにクラスルームを通じて提出する。
教科書		
みんなの生命科学 北口哲也・塚原伸次・坪井貴司・前川文彦 化学同人 ISBN 97847598181116		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		物理学				ナンバリング	1152
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
科学的知識を学ぶことにより、幅広く教養を身につけるための科目である。 「運動学Ⅰ」(理学、作業)、「運動学Ⅱ」(理学、作業)、「物理療法学Ⅰ」(理学)、「物理療法学Ⅱ」(理学)、「物理療法学演習」(理学)と連携している教養科目である。 看護学科のディプロマ・ポリシー「看護学の本質を理解するために必要な、文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考力を有し、看護を取り巻く状況の変化に柔軟に対応できる。(思考・判断・表現)」と特に関係がある科目である。 理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている。(知識・理解)」と特に関係がある科目である。 作業療法学専攻のディプロマ・ポリシー「幅広く教養を高め、豊かな人間性と高い倫理観、社会変化への適応力を持ち、作業療法学の持続的な発展に貢献して社会を支えることができる。(関心・意欲・態度)」と関係がある科目である。							
授業の概要							
物理学は広範な自然現象を統一的に理解しようとするものであり、全ての自然科学の基礎をなしている。ここでは、生体力学や運動学の基礎となるニュートン力学および熱力学の基本的な考えや電磁気学の基礎法則を理解し、剛体の力学、変形体の力学および生体組織の力学的性質および電気、電磁波、超音波の性質や生体作用について学習する。							
到達目標							
1. ニュートンの法則にもとづいて運動方程式を記述し、物体の運動を求めることができる。 2. 力のモーメントを用いて剛体のつりあいの式を記述できる。 3. 変形する物体の力学的性質や波動の性質について説明できる。 4. 仕事とエネルギー、力学的エネルギー保存の法則、熱エネルギーについて説明できる。 5. 電磁現象の概略(電気力や磁力の原因、電磁誘導、電磁波の性質)を説明できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 理解度確認テストを実施するとともに、コメントを書かせる(全15回)。 毎回の内容について宿題を課す(1回目～14回目)。 9回目と15回目に試験を実施する。 フィードバックとして理解度確認テストと宿題の解説を行う。							
ICT活用							
Google Formのテスト作成機能を用いて、確認テストと宿題として練習問題を提供し自主学習を促す。 授業の動画(パワーポイントの説明に音声を入力したもの)をGoogle Classroomにアップし復習に活用できるようにする。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして理解度確認テストおよび宿題の解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	はじめに 物理学で用いられる単位系について学ぶ。 力学1【運動の記述】直線上を運動する物体の速度、加速度の計算方法を習得する。また、平面上の運動における物体の位置の表しかた、速度と速さの違いを理解する。	教科書のp5、p9～p10、p12、p14、p19、p25～p28を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第2回	力学2【運動の記述】平面上の運動における物体の加速度の向きを知る方法を理解する。【ニュートンの運動の法則】ニュートンの運動の3法則である慣性の法則、運動の法則($F=ma$)および作用反作用の法則を理解する。 ・物体に働く力の矢印の書き方を習得する。 ・等速円運動する物体に働く力の向きを理解する。	教科書のp29、p34～p37、p39～p40、p73～p75を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第3回	力学3【ニュートンの運動の法則の応用】・地球上の物体に働く重力と落下運動について理解する。・床等に置かれた物体が静止するために垂直抗力が働くことが必要なことを理解する。物体の運動方程式を立てることによって、物体に働く力や加速度を求める方法を習得する。・平面における運動式を理解する。	教科書のp41、p43、p46～p47を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第4回	力学4【ニュートンの運動の法則の応用】・力の合成と分解を理解する。・静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力のちがいを理解する。・垂直抗力と摩擦係数から最大摩擦力、動摩擦力を計算する方法を習得する。斜面上の物体の運動方程式を立てる方法を習得する。	教科書のp42～p43、p45下半分、p48～p50を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			

第5回	力学5【剛体の力学】・大きさがあるが変形しないというモデルである「剛体」の概念を理解する。物体の回転状態を変化させる作用である力のモーメントの計算方法を習得する。力のモーメントをもとにして重心という概念を理解できること、また重心の位置を計算する方法を習得する。	教科書のp42、p51を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第6回	力学6【剛体の力学】・剛体の力学—剛体が回転せずに回りあうための条件を理解し、これに基づいて剛体に働く力を求める方法を習得する。 【仕事とエネルギー】仕事と仕事率の定義を理解する。	教科書のp44～p45、p52～p53、p59～p62を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第7回	力学7【仕事とエネルギー】・重力の位置エネルギー、運動エネルギーの計算方法を習得する。・仕事と運動エネルギーとの関係から力学的エネルギー保存則が導かれることを理解する。・力学的エネルギー保存の法則を用いて運動する物体の速さを求める方法を習得する。・より広い意味のエネルギー保存則を理解する。 【慣性力】・非慣性系における、みかけの力(慣性力)を学び、遠心力が慣性力であることを理解する。	教科書のp62～p66、p93を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第8回	力学8【変形する物体の静力学】・力を加えると変形するが、力を取り除くと元に戻る性質をもつ物体を弾性体という。弾性体のひずみが小さいとき、弾性体の変形のもととなる応力はひずみに比例する。このときの比例定数が弾性定数であり、これを用いて物体の変形量を計算する方法を習得する。また、いくつかの弾性率(ヤング率、剛性率)の違いを知る。	教科書のp101～p104を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第9回	力学9【流体の力学】・流体の力学—流体とはなにか、またその圧力の特徴を理解する。流体の密度や、ある深さにおける流体の圧力の計算方法を習得する。粘性がずれ応力であることを理解する。 ★授業の1回目から7回目の内容を範囲とした試験を行う。	教科書のp95～p101、p104～p108を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第10回	【波動】・波の表し方および波の基本式を理解する。・正弦波が波の基本的な形であることを理解する。・波の干渉と回折について理解する。・弦に生じる定在波の固有振動の計算を修得する。・超音波の性質を学ぶ。	教科書のp114～p124を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			

第11回	電磁気学1【電気力】・電気現象を引き起こす電荷について理解する。・真空中の電荷の間に働く力である電気力(クーロン力)の性質を学ぶ。電気力を働かせる空間である電場の概念を理解する。電位の定義を理解し電位差と電気量から電気力がした仕事量を計算する方法を習得する。・電場によって物体表面に電荷が現れる現象である静電誘導について理解する。	教科書のp158～p161、p162～p171を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第12回	電磁気学2【電流・電気回路】・電流、電圧と電気抵抗との間の関係であるオームの法則を理解する。・電力およびジュール熱の計算し、抵抗の発熱量を計算する方法を習得する。・交流による電力と実効値を理解する。・電荷を蓄える装置であるキャパシターの性質を理解する。・比誘電率について理解する。	教科書のp161～p162、p164～p165、p173～p175、p177～p179、p182～p184、p206～p208を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第13回	電磁気学3【磁場】・磁場の性質を理解する。・電流が磁場を発生されることを知り、定常電流がどのような向きの磁場を生じるかを理解する。・磁場中で運動する荷電粒子に働くローレンツ力の向き、また磁場中で電流が流れている導線に働く力を理解する。	教科書のp191～p199を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第14回	電磁気学4【電磁誘導】・電磁誘導(ファラデーの法則)、磁場が時間変化することにより電場が発生することを理解する。・磁場中でコイルを動かすと、磁場が時間変化していなくてもコイルに電流が流れることを理解する。・電場の変化によって磁場の発生することを理解する。・電磁波の発生機序を理解する。	教科書のp199～p203、p212～p214を読んでおく。(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と配布資料を復習し宿題を行う(90分)。
担当教員			
第15回	【熱力学】・熱の移動方法は主に熱伝導、対流、熱輻射の3つがある。このうち熱伝導の性質、熱輻射の性質を理解する。 ★授業の8回目から14回目の内容を範囲とした試験を行う。	教科書のp136～p144、p147、p149～p150を読んでおく。(90分)。	授業で行った全範囲について復習しておく(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	各講義中に提出する理解度確認テストの提出(15回)、各回ごとの宿題の提出(14回) および授業内(9回目と15回目)に実施する試験により評価する。	

その他	0	なし
教科書		
第3版 物理学入門 Web動画付／原康夫／学術出版図書		
参考文献		
医療系のための物理／佐藤幸一他／東京教学社		
履修条件・留意事項等		
理学療法学専攻の学生は、運動学、物理療法学の基本となるので、高校で物理基礎のみ履修の学生,それすら未履修の学生は必ず履修すること。作業療法学専攻の学生は、運動学の基本となるので履修するとよい。看護学科、健康栄養学科の学生は専門に直結するわけではないので数理分野が得意で興味があれば履修してもよい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		英語 I (2組)				ナンバリング	1170
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	Patrick Hall						
授業の位置づけ							
This is a fairly basic level class. Students will practice, reinforce, and build on general English skills and vocabulary learned in high school, Etc.							
授業の概要							
本科目では、英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、プレゼンテーションのスキルを習得する。これらのスキルは、英語で効果的にコミュニケーションを行うために必要であり、講義は参加型の学習スタイルを取る。ネイティブスピーカーと英語を話す機会を得るとともに、第2言語として英語を話す機会が提供される。							
到達目標							
Students will practice everyday English skills needed for basic interpersonal communication. Focus will be on speaking, listening, and reading, and being able to describe basic things, ask and answer questions, explain and react appropriately, using good, clear, basic grammar constructions. Although the broad focus is general skills, attention will also be given to interacting with patients in a medical setting. (i.e. greeting patients, asking about their condition, giving instructions, etc.)							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
If needed, this class may utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not Applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Class intro, syllabus, Unit 0	Go over syllabus and Unit 0 vocab (90 minutes)	Prepare Unit 1 p.12-16, p.I (90minutes)
担当教員			
第2回	Unit 1 Part I p. 12-16: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review Unit 1 part I p. 2-16 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 1 part II p. 17-19 (90 Min)
担当教員			
第3回	Unit 1 Part II p.17-19: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review unit 1 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2, p.20-24 (90 Min)
担当教員			
第4回	Unit 2, Part I p.20-24: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 p.20-24 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2 Part II (p.25-27) (90 Min)
担当教員			

第5回	Unit 2, Part II p.25-27: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 (p28-32) (90 Min)
担当教員			
第6回	Unit 3, Part I p28-32: Schedules and routines. Making appointments with patients	Review unit 3 (p28-32) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 Part II (p33-35) (90 Min)
担当教員			
第7回	Unit 3, Part II p33-35: Schedules and routines. Test Prep.	Prepare for Test!! (90minutes)	Review vocabulary and concepts (90 Min)
担当教員			
第8回	Midterm	Review concepts you had trouble with on test (90 Min)	Prepare for Unit 4 Part I, p. 36-40 (90 Min)
担当教員			
第9回	Unit 4, Part I, p36-40: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 (p36-40) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare p41-43 (90 Min)
担当教員			
第10回	Unit 4 Part II, p41-43: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 5, p.44-48 (90 Min)
担当教員			

第11回	Unit 5 Part I, p.44-48: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 p. 44-48 vocabulary and concepts (90minutes)	Unit 5 Part II (p.49-51) (90 Min)
担当教員			
第12回	Unit 5 Part II, p.49-51: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 (p.49-51) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 6 (p.52-56) (90 Min)
担当教員			
第13回	Unit 6, Part I, p52-56: Describing past actions.	Review Unit 6 (p.52-56) (90 Min)	Please read and prepare Unit 6 Part II (p57-59) (90 Min)
担当教員			
第14回	Unit 6, Part II, p57-59: Describing past actions. Side by Side activity: Explaining a visit to a doctor's office in present and past tense. Test prep.	Review Units 4-6 thoroughly!!	Prepare for final exam!!
担当教員			
第15回	Final exam	Be sure all assignments have been completed and given to the teacher	If you have any makeup work or late assignments, complete them and send to Professor
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 30 Final 40 Attendance and participation, quizzes 30	

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		英語 I (1組)				ナンバリング	1170
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	Patrick Hall						
授業の位置づけ							
This is a fairly basic level class. Students will practice, reinforce, and build on general English skills and vocabulary learned in high school, Etc.							
授業の概要							
本科目では、英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、プレゼンテーションのスキルを習得する。これらのスキルは、英語で効果的にコミュニケーションを行うために必要であり、講義は参加型の学習スタイルを取る。ネイティブスピーカーと英語を話す機会を得るとともに、第2言語として英語を話す機会が提供される。							
到達目標							
Students will practice everyday English skills needed for basic interpersonal communication. Focus will be on speaking, listening, and reading, and being able to describe basic things, ask and answer questions, explain and react appropriately, using good, clear, basic grammar constructions. Although the broad focus is general skills, attention will also be given to interacting with patients in a medical setting. (i.e. greeting patients, asking about their condition, giving instructions, etc.)							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
If needed, this class may utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Class intro, syllabus, Unit 0	Go over syllabus and Unit 0 vocab (90 minutes)	Prepare Unit 1 p.12-16, p.I (90minutes)
担当教員			
第2回	Unit 1 Part I p. 12-16: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review Unit 1 part I p. 2-16 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 1 part II p. 17-19 (90 Min)
担当教員			
第3回	Unit 1 Part II p.17-19: Introducing self, giving and getting information from patients or others	Review unit 1 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2, p.20-24 (90 Min)
担当教員			
第4回	Unit 2, Part I p.20-24: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 p.20-24 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 2 Part II (p.25-27) (90 Min)
担当教員			

第5回	Unit 2, Part II p.25-27: Describing people, Be vs. Have grammar point, medical conditions	Review unit 2 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 (p28-32) (90 Min)
担当教員			
第6回	Unit 3, Part I p28-32: Schedules and routines. Making appointments with patients	Review unit 3 (p28-32) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 3 Part II (p33-35) (90 Min)
担当教員			
第7回	Unit 3, Part II p33-35: Schedules and routines. Test Prep.	Prepare for midterm exam!! (as much time as you need)	Review vocabulary and concepts (90 Min)
担当教員			
第8回	Midterm exam	Go over exam materials	Prepare for Unit 4 Part I, p. 36-40 (90 Min)
担当教員			
第9回	Unit 4, Part I, p36-40: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 (p36-40) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare p41-43 (90 Min)
担当教員			
第10回	Unit 4 Part II, p41-43: Describing basic physical things and relations (there is/there are etc.)	Review unit 4 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 5, p.44-48 (90 Min)
担当教員			

第11回	Unit 5 Part I, p.44-48: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 p. 44-48 vocabulary and concepts (90minutes)	Unit 5 Part II (p.49-51) (90 Min)
担当教員			
第12回	Unit 5 Part II, p.49-51: Giving and receiving directions, use of basic prepositions. Room Picture activity.	Review unit 5 (p.49-51) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 6 (p.52-56) (90 Min)
担当教員			
第13回	Unit 6, Part I, p52-56: Describing past actions.	Review Unit 6 (p.52-56) (90 Min)	Please read and prepare Unit 6 Part II (p57-59) (90 Min)
担当教員			
第14回	Unit 6, Part II, p57-59: Describing past actions. Side by Side activity: Explaining a visit to a doctor's office in present and past tense. Test prep.	Review Units 4-6 thoroughly!!	Prepare for final exam !!
担当教員			
第15回	Final exam	Be sure all assignments have been completed and given to the teacher	If you have any makeup work or late assignments, complete them and send to Professor
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 30 Final 40 Attendance and participation, quizzes 30	

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		韓国語 I				ナンバリング	1188
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	金 京室						
授業の位置づけ							
初年度教育の一環として、これから専門領域を学習する心構えを養うための科目である。							
授業の概要							
韓国語を学ぶ上で必要な、基礎的な文法や発音などを理解した上で、簡単な会話スキルを習得する。							
到達目標							
・韓国語の基礎的な読み・書きができる。 ・韓国語で簡単な自己紹介できる。							
授業の方法							
・基本的には、パワーポイントと配布印刷物を用いた方法で説明したのち、グループ学習を行う。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

なし			
課題に対するフィードバックの方法			
課題に対し、授業中に口頭や実演にてフィードバックする。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション・ハングルについて ・ハングルの特徴について理解する	ハングル文字について確認しておくこと(90分)	講義で配布した資料および教科書を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第2回	第1課 おはようございますー出会い I ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語の母音を発音・書くことができる	教科書p1-4を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p1-4を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第3回	第2課 おはようー出会い II ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語の子音を発音・書くことができる	教科書p5-8を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p5-8を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第4回	第3課 さようならー別れ I ・韓国語で挨拶ができる ・濁り音の理解・発音・書くことができる	教科書p9-12を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p9-12を復習する(90分)
担当教員	金 京室		

第5回	第4課 明日またねー別れⅡ ・韓国語で挨拶ができる ・激音の理解・発音・書くことができる	教科書p13-16を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p13-16を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第6回	第1-4課のまとめと復習 ・韓国語で挨拶ができる ・韓国語を発音・書くことができる ・小テスト①	教科書p1-16を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p1-16を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第7回	第5課 これ、どうですか ・韓国語で尋ねる・答えることができる ・濃音を理解・発音・書くことができる	教科書p17-20を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p17-20を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第8回	第6課 ありがとう ・韓国語で感謝を表現することができる ・半母音を理解・発音・書くことができる	教科書p21-24を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p21-24を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第9回	第7課 ありがとうございます ・韓国語で丁寧に感謝を表現することができる ・パッチムを理解・発音・書くことができる	教科書p25-28を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p25-28を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第10回	第8課 何ですか ・韓国語で質問することができる ・連音を理解・発音することができる ・数字を読むことができる	教科書p32-38を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p32-38を復習する(90分)
担当教員	金 京室		

第11回	第5-8課のまとめと復習 ・韓国語で質問や答えができる ・韓国語を発音・書くことができる ・小テスト②	教科書p17-38を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p17-38を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第12回	第9課 申し訳ありません ・韓国語で謝罪することができる ・弱音化・鼻音化 I を理解・発音することができる	教科書p39-41を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p39-41を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第13回	第10課 私は山崎未来です ・韓国語で自己紹介することができる ・助詞・疑問詞を理解・発音することができる	教科書p42-47を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p42-47を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第14回	第11課 誕生日はいつですか？ ・韓国語で日付を理解・発音することができる ・韓国の記念日を発音することができる	教科書p48-51を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p48-51を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
第15回	第1-11課のまとめと復習 ・韓国語を発音・書くことができる ・簡単な会話ができる ・小テスト③	教科書p1-51を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p1-51を復習する(90分)
担当教員	金 京室		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	筆記・口頭による復習テストで評価する(80%)・授業参加度(20%)	

その他	0	なし
教科書		
コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅠ 長谷川由起子 白帝社		
参考文献		
指定なし		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		中国語 I				ナンバリング	1178
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	野間 晃						
授業の位置づけ							
履修者が中国語を初めて学ぶことを前提として、入門中国語にとって最も大切な発音の練習から、中国語がどのような言語なのかを基礎的につかめるようにする。							

(なし)			
課題に対するフィードバックの方法			
毎回授業開始時に配られるノート兼ねたプリントの答えを記入して授業終了後に提出し、次回に返却されたものを見ながら重要点を復習する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(授業の進め方・参考図書について) この講義における授業の進め方・評価の方法・習得できる 内容が理解できるようになる。	中国語に関する知識の探索。(90分)	中国語学習の方向性認識。(90分)
担当教員			
第2回	発音 プロローグA 声調、日本人にとって難しい発音 日本人にとって難しい中国語の発音が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第3回	発音 プロローグB -n:-ng、そり舌音、iの特別な発音、iu 中国語の発音の中でも、特に注意を要すべきものについて理解できるようになる①。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第4回	発音 プロローグC 日本語にない子音の発音 日本語にない子音の発音について理解できるようになる②。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第5回	発音 プロローグD 書き換え規則、二重母音・三重母音、隠れるローマ字 中国語の発音の中でも、特に注意を要すべきものについて理解できるようになる③。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第6回	第1課 1. 指示代名詞 2. 形容詞述語文と“很” 3. “嗎”疑問文 4. “不” 5. “不”の変調 指示代名詞と形容詞述語文と“很”と“嗎”疑問文と“不”と“不”の変調が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第7回	第2課 1. 正反疑問文 2. 選択疑問文 3. “的”が省略できる場合 4. 動詞句+“的”→名詞句 正反疑問文と選択疑問文と“的”が省略できる場合と動詞句+“的”→名詞句親族名称が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第8回	第3課 1. 親族名称 2. “両” 3. “有”と“没有” 4. 年齢の聞き方 5. “一”の変調 6. 21から99までの“十”の発音 親族名称と“両”と“有”と“没有”と年齢の聞き方と“一”の変調と21から99までの“十”の発音が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第9回	第4課 1. 助動詞“想” 2. 日付と曜日 3. 動詞の重ね型 4. 前置詞“給” 5. 積極的な気持ちを表す“来” 助動詞“想”と日付と曜日と動詞の重ね型と前置詞“給”と積極的な気持ちを表す“来”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第10回	第5課 1. 月 2. 時刻 月と時刻の言い方が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第11回	第6課 1. お金の言い方 2. 100以上の数 3. 数量補語 4. “児化” お金の言い方と100以上の数と数量補語と“児化”が理解できるようになる	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第12回	第7課 1. 助動詞“在” 2. 助動詞“要” 3. 前置詞“離” 助動詞“在”“要”と前置詞“離”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第13回	第8課 1. 助動詞“在” 2. 助動詞“能” 3. 二重目的語 4. “多一点兒” 助動詞“在”“能”と二重目的語と“多一点兒”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第14回	第9課 1. 助動詞“会” 2. 連動文 3. “別”“不要” 助動詞“可以”と連動文と“別”“不要”が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第15回	第10課 1. 助動詞“可以” 2. 比較の言い方 助動詞“可以”と比較の言い方が理解できるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	90	授業中に書き込んで終了後に提出するプリントを総合評価する。	

その他	10	積極的な授業参加は加点の対象とする。
教科書		
複数の教科書を使用するが、受講者に購入は求めない。		
参考文献		
授業中に適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
遅刻は減点の対象になるので注意すること。		
備考欄		
なし。		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 スポーツと健康					
科目名		生涯スポーツ I (1組)				ナンバリング	1196
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							
授業の概要							
体育としてのスポーツ、楽しみ実践するスポーツ、レクリエーションとスポーツ、競技としてのスポーツ等々について概念を明確にする。また、健康的で楽しい生活を送るためのスポーツ活動の意義を理解し、具体的な実技を通して、個々の身体的・精神的な健康レベルを向上させながら、生涯学習とは何か、生涯学習に果たすスポーツの役割について考察し、生涯にわたってスポーツを継続していくための基礎知識を習得する。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等についての解説する。	シラバスで授業の内容を確認する。(20分)	受講に関しての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	ソフトバレーボール(1) 基礎的なパス練習・アタック練習を行う。	ソフトバレーボールとはどのような競技なのかを調べておく。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第3回	ソフトバレーボール(2) 練習した技術をゲームの中で活用する	戦術・コンビネーションプレーを考える。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第4回	バドミントン・卓球(1) 基礎・応用練習ーサーブ・様々なストローク・ショットの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第7回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第8回	バレーボール④ ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(1) 基礎・応用練習ーパス・シュート練習、2人・3人のプレーの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第10回	バスケットボール(2) ゲーム(技術の活用)ーパス・シュートをゲームの中で活用する。	簡単なルールを調べる。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			

第11回	アウトドアスポーツ(1) ソフトボールー基本練習(キャッチ・スロー・バッティング)を行う。 テニスー基本練習(フォアハンド・バックハンド)を行う。	屋外スポーツの重要性・注意事項を考える。(20分)	学習・実施した内容を今後どのように生かすか考える。(25分)
担当教員			
第12回	アウトドアスポーツ(2) ソフトボールーゲーム(キャッチ・スロー・バッティング技術を活用)を行う。 テニスーラリー(フォアハンド・バックハンド技術を活用)を行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第13回	バドミントン(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第14回	バスケットボール(3) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーをゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第15回	バスケットボール(4) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考えをまとめる(25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目に変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 スポーツと健康					
科目名		生涯スポーツ I (2組)				ナンバリング	1196
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等についての解説する。	シラバスで授業の内容を確認する。(20分)	受講に関しての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	ソフトバレーボール(1) 基礎的なパス練習・アタック練習を行う。	ソフトバレーボールとはどのような競技なのかを調べておく。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第3回	ソフトバレーボール(2) 練習した技術をゲームの中で活用する	戦術・コンビネーションプレーを考える。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第4回	バドミントン・卓球(1) 基礎・応用練習ーサーブ・様々なストローク・ショットの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第7回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第8回	バレーボール④ ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(1) 基礎・応用練習ーパス・シュート練習、2人・3人のプレーの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第10回	バスケットボール(2) ゲーム(技術の活用)ーパス・シュートをゲームの中で活用する。	簡単なルールを調べる。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			

第11回	アウトドアスポーツ(1) ソフトボールー基本練習(キャッチ・スロー・バッティング)を行う。 テニスー基本練習(フォアハンド・バックハンド)を行う。	屋外スポーツの重要性・注意事項を考える。(20分)	学習・実施した内容を今後どのように生かすか考える。(25分)
担当教員			
第12回	アウトドアスポーツ(2) ソフトボールーゲーム(キャッチ・スロー・バッティング技術を活用)を行う。 テニスーラリー(フォアハンド・バックハンド技術を活用)を行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第13回	バドミントン(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第14回	バスケットボール(3) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーをゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第15回	バスケットボール(4) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考えをまとめる(25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目に変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能					
科目名		人体機能学Ⅰ				ナンバリング	2210
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世						
授業の位置づけ							
本科目は「看護を行うために知っておくべき人体の構造と機能を学ぶ」に位置づけられ、ディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要な、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解を高め、看護師としての実践応力を有している」人材育成につながる基本的な人体の構造を理解するために必要な基礎知識を習得する。本科目と「人体構造学Ⅰ」「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅱ」「免疫学」「看護栄養学」によって人体の構造と機能を学習する。これらの科目を基盤として「疾病の成り立ちと回復の促進」に配置した科目の「看護病態治療学Ⅰ～Ⅳ」につなげる。							
授業の概要							
本科目は、健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、看護の視点から人体を系統立てて理解し、観察力や判断力を強化することで、看護の対象である人々の日常生活行動が継続され生命維持に必要な身体の機能を学ぶ。学習内容は、生命を維持するために必要な日常生活行動のうち「内部環境の恒常性」「恒常性を維持するための物質の流通と調節機構」の身体の働きである。							
到達目標							
・生命の営みそのものが日常生活であることが理解できる。 ・内部環境と外部環境を区別している皮膚の役割と働きが説明できる。 ・内部環境を構成している細胞や体液の役割と働きが説明できる。 ・恒常性を維持するため物質の、流通に必要な血液と血管、リンパ管、脾臓、心臓の役割と働きを説明できる。 ・恒常性を維持するための、調節に必要な神経やホルモンの役割と働きを説明できる。							
授業の方法							
授業の方法は、講義形式、グループワーク(全8回)と発表(適宜)を活用して行う。教材は、教科書と担当教員が作成した資料である。本科目は、理解度を確保するための小テスト(全6回)と確認テスト(1回)、事前事後学習の確認(10回)によって評価する。							
ICT活用							
・Google classroomを活用して講義関連連絡や課題提出を行う。 ・Google formのアンケート作成機能を用いてアンケートを行う。 ・人体構造に関する動画を視聴するためタブレットを使用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

- ・総合的な病院において看護師として約7年間勤務した経験を活かして授業を行う(高岡)。
- ・小児科・NICUでの臨床経験や知識を活かした講義を行う(横山)。
- ・病院にて看護師として、循環器外科の経験があり、この経験を活かし、授業を行う(木口)。
- ・小児科・循環器内科・呼吸器内科での経験を活かした講義を行う(菅原)。

課題に対するフィードバックの方法

- ・フィードバックとして理解度の小レポートや確認テストを回収した後、集団に対して、解答の解説を行う。
- ・グループワークや発表の後、講評として集団に対してコメントをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(講義・GW) 内容:本講義の進め方、シラバス 行動目標:ガイダンス内容を理解し、自らが学習すべき内容と学習方法が説明できる。 GWテーマ:今後の学習方法を検討する。	シラバスを熟読する(30分)。	・学習のポイントを記載する。 ・教科書②p4-8を完成する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第2回	何のための生活行動か 生きているとはどういうことか(講義・GW) 内容: ・生きているとはどういうことか ・高校までの生物と看護学で学ぶ解剖生理学の違い ・人体機能学とは何か ・人体機能学は看護学にどのように役に立つのか 行動目標: ・生命の営みと日常生活の関連がわかる。 ・看護学において人体を学ぶ必要性がわかる。 ・人体機能学とは何かを説明できる。	教科書①p1-2を熟読する(30分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p4-8を他者に説明できる程理解する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第3回	何のための生活行動か 内容:個体を外界から区別するもの一皮膚(GW) GWテーマ:年を重ねることでの皮膚の変化と変化の理由 行動目標:他者の話を聴いて自身の意見を発言し、メンバーとしての役割を果たすことができる。	教科書②p62-63を完成する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p62-63を他者に説明できる程理解する(90分)。提出①
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第4回	何のための生活行動か 内部環境の恒常性(講義) 内容:体温(体温調節中枢・熱の産生と放散・発熱と解熱) 行動目標:体温の仕組みが説明できる。 小テスト①教科書②p62-63	教科書①p14-16を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p29の2とp30の3を完成する。 ・教科書②p78を熟読する(90分)。提出②
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		

第5回	恒常性維持のための物質の流通 流通の媒体-血液・流通路 (講義) ゲストスピーカー: 南和広先生 内容: 血液の働き 行動目標: 血液の働きを説明できる 小テスト②: 教科書②p29の2とp30の3	教科書①p19-30を熟読する(90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p88-89を完成させる(90分)。提出③
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第6回	恒常性維持のための物質の流通 流通の原動力(講義・GW) 内容: 心臓と血圧 行動目標: ・心臓の機能を説明できる ・血圧を説明できる GWテーマ: なぜ、血圧は低くなったり高くなったりするのか?	教科書①p30-38を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p28「やってみよう⑩」を完成する(90分)。提出④
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第7回	恒常性維持のための物質の物流(GW) 内容: 流通の原動力-心臓 行動目標: 心臓の機能を説明できる。 GWテーマ: どうして運動すると心臓がドキドキするのか? と他者に聞かれた。どのように説明するのかをシナリオにする。 小テスト③: 教科書②88-89	教科書①30-34を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p26-27「やってみよう⑮～⑱」を完成する(90分)。提出⑤
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第8回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 受容器(講義・GW) 内容: 神経性調節 行動目標: 受容器(見る・聞く・におう・触れる)の仕組みについて説明できる。 GWテーマ: なぜ人は、聞くこと、見ること、嗅ぐこと、触れることができるのか?	教科書①p39～47を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p21-22の1を他者に説明できる程理解する(90分)。提出⑥
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第9回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 中枢神経(講義) 内容: 中枢神経 行動目標: 脳・脊髄の機能について説明できる 小テスト④: 教科書②p21-22の1	教科書①p48～56を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p85を熟読する(90分)。提出⑦
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第10回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 末梢神経(講義・GW) 内容: 末梢神経 行動目標: ・脳神経の機能を説明できる。 ・脊髄神経の機能を説明できる。 ・自律神経の機能を説明できる。 GWテーマ: 交感神経と副交感神経が優位な場合、身体に何が起るのか?	教科書①p57～65を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p11-12の5とp23の2を他者に説明できる程理解する(90分)。提出⑧
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		

第11回	恒常性維持のための調節機構 液性調整(講義) 内容:液性調節 行動目標: ・ホルモンの作用機序の仕組みについて説明できる ・ホルモン分泌の調節の仕組みについて説明できる ・恒常性維持のためのホルモンの仕組みについて説明できる 小テスト⑤:教科書②p11の5とp23の2	教科書①p66～74を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②71-72を他者に説明できる程理解する(90分)。提出⑨
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第12回	恒常性維持のための調節機構 ストレスと恒常性維持(講義) 内容:ストレスと恒常性維持 行動目標:恒常性とストレスの仕組みについて説明できる。 小テスト⑥教科書②71-72	教科書①p75～77を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p75～76の5を完成する(90分)。提出⑩
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第13回	標本館見学(見学) 内容:人体の機能の実際 行動目標:標本館見学を通し、これまでの学習と関連付けることができる	教科書②p4-8を完成する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・標本館見学の課題を実施する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第14回	標本館見学まとめ(GW) 内容:人体の構造の実際 行動目標:標本館見学を通し、これまでの学習と関連付けることができる GW:標本館見学の課題	標本館見学の課題のGW準備を行う(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・標本館見学の課題を実施する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第15回	確認テスト・フィードバック 内容:確認テストと解説、14回講義のふりかえり 行動目標:本講義の振り返りができる。	今までの学習を振り返り、確認テストに備える(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・今までの学習成果をいつでも見返せるように整理する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	小テスト:6回×10点＝60点 確認テスト:1回×30点＝30点 事前事後学習:10回×1点＝10点	

その他	0	
教科書		
① 菱沼典子:看護形態機能学 生活行動からみるからだ第4版、日本看護協会出版会、2021 ② 菱沼典子:看護形態機能学ワークブック 体験して考えるからだのいとなみ、日本看護協会出版会、2022 ③ 佐藤達夫:新版からだの地図帳、講談社、2020		
参考文献		
① 林正健二:ナースング・グラフィカ人体の構造と機能第4版、メディカ出版、2021 ② 坂井建雄:系統看護学講座 専門基礎看護分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学、医学書院、2022		
履修条件・留意事項等		
・私語、必要時以外の携帯の使用を禁止する。 ・学習は主体的に行う。 ・提出物と小テストは定期試験と同等に扱う。 ・やむを得ず欠席した場合は、必ず欠席届を提出する。 ・やむを得ず遅刻、もしくは早退する場合は必ず教員へ申し出る。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能					
科目名		人体構造学Ⅰ				ナンバリング	2202
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世						
授業の位置づけ							
本科目は「看護を行うために知っておくべき人体の構造と機能を学ぶ」に位置づけられ、ディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要な、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解を高め、看護師としての実践応力を有している」人材育成につながる基本的な人体の構造を理解するために必要な基礎知識を習得する。本科目と「人体機能学Ⅰ」「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅱ」「免疫学」「看護栄養学」によって人体の構造と機能を学習する。これらの科目を基盤として「疾病の成り立ちと回復の促進」に配置した科目の「看護病態治療学Ⅰ～Ⅳ」につなげる。							
授業の概要							
本科目は、健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、看護の視点から人体を系統立てて理解し、観察力や判断力を強化することで、看護の対象である人々の日常生活行動が継続され生命維持に必要な身体構造を学ぶ。学習内容は、生命を維持するために必要な日常生活行動のうち「内部環境の恒常性」「恒常性を維持するための物質の流通と調節機構」の身体の仕組みである。							
到達目標							
・生命の営みそのものが日常生活であることが理解できる。 ・内部環境と外部環境を区別している皮膚の正常な状態が説明できる。 ・内部環境を構成している細胞や体液の構造や分類が説明できる。 ・恒常性を維持するための、物質の流通に必要な血液と血管、リンパ管、脾臓、心臓の構造を説明できる。 ・恒常性を維持するための、調節に必要な神経やホルモンの構造を説明できる。							
授業の方法							
授業の方法は、講義形式、グループワーク(全5回)と発表(適宜)を活用して行う。教材は、教科書と担当教員が作成した資料である。本科目は、理解度を確保するための小テスト(全6回)と確認テスト(1回)、事前事後学習の確認(10回)によって評価する。							
ICT活用							
・Google classroomを活用して講義関連連絡や課題提出を行う。 ・Google formのアンケート作成機能を用いてアンケートを行う。 ・人体構造に関する動画を視聴するためタブレットを使用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

- ・総合的な病院において看護師として約7年間勤務した経験を活かして授業を行う(高岡)。
- ・小児科・NICUでの臨床経験や知識を活かした講義を行う(横山)。
- ・病院にて看護師として、循環器外科の経験があり、この経験を活かし、授業を行う(木口)。
- ・小児科・循環器内科・呼吸器内科での経験を活かした講義を行う(菅原)。

課題に対するフィードバックの方法

- ・フィードバックとして理解度の小レポートや確認テストを回収した後、集団に対して、解答の解説を行う。
- ・グループワークや発表の後、講評として集団に対してコメントをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(講義・GW) 内容:本講義の進め方、シラバスの説明 行動目標:ガイダンス内容を理解し、自らが学習すべき内容と学習方法が説明できる。 GWテーマ:今後の学習方法を検討する。	シラバスを熟読する。(30分)	・学習のポイントを記載する。 ・教科書②p2-3体内の構造物: 「やってみよう①」を完成する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第2回	何のための生活行動か 生きているとはどういうことか(講義) 内容: ・生きているとはどういうことか ・高校までの生物と看護学で学ぶ解剖生理学の違い ・人体構造学とは何か ・人体構造は看護学にどのように役に立つのか 行動目標: ・生命の営みと日常生活の関連がわかる。 ・看護学において人体を学ぶ必要性がわかる。 ・人体構造学とは何かを説明できる。	教科書②p2-3体内の構造物:「 やってみよう①」を他者に説明で きる程理解する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・小テスト①からだの白地図を再 度他者に説明できる程理解する (90分)。提出①
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第3回	何のための生活行動か 個体を外界から区別するもの一皮膚(講義)ゲストスピーカ ー:小西さやか先生	教科書①p2-4を熟読する 教科書②p60 ♪を完成させる (90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p60の図に名称を記 載する(90分)。提出②
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第4回	何のための生活行動か 内部環境の恒常性(講義) 内容:内部環境の恒常性(ホメオスタシス) 行動目標: ・体液の分類と量を説明できる。 ・体液の電解質を説明できる。 ・血漿のpHを説明できる ・動脈血の酸素分圧を説明できる。 ・血漿の糖분을説明できる。 小テスト②なぜ血液を採って検査するの? 血液検査で何を測るの?	教科書①p4-14を熟読する。 教科書②p30の4とp31の5を他 者に説明できる程理解する。 (90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・小テスト②を再度他者に説明 できる程理解する(90分)。提出 ③
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		

第5回	恒常性維持のための物質の流通 流通の媒体-血液・流通路 (講義) ゲストスピーカー: 南和広先生 内容: 流通の媒体-血液 流通路(血管・リンパ管) 脾臓 行動目標: ・血液の恒常性維持を説明できる。 ・物質の運搬を説明できる。 ・侵入物に対する防衛を説明できる。 ・血液凝固を説明できる。	教科書①p19～30を熟読する。 (90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p29の1を完成させる。 ・教科書②p80を熟読する(90分)。 提出④
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第6回	恒常性維持のための物質の流通 流通の原動力(講義) 内容: 心臓 行動目標: 心臓の構造について説明できる。 小テスト③教科書②p27やってみよう⑩	教科書①p30-34を熟読する。 教科書②p27「やってみよう⑩」 を他者に説明できる程理解する。 (90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書①p31図2-14脈をふれ やすい動脈を自身の身体で触 れられるようになる(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第7回	恒常性維持のための物質の物流(GW) 内容: 全身の血管・リンパ管 行動目標: 全身の血管・リンパ管の構造について説明できる。 GWテーマ: 全身の血管とリンパ管の構造を他者に説明するシナリオを作成する。 小テスト④: 脈がふれやすい動脈	教科書①p26-27を熟読する。 (90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書①p27の図2-8が他者に 説明できる程理解する(90分)。 提出⑤
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第8回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 受容器(講義) 内容: 神経性調節 行動目標: 受容器(見る・聞く・におう・触れる)を説明できる。 小テスト⑤: 教科書①p27図2-8	教科書①p39～47を熟読する (90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p52 ♪、教科書①p43 図3-5を他者に説明できる程理 解する(90分)。提出⑥
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第9回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 中枢神経(講義・GW) 内容: 中枢神経 行動目標: 脳・脊髄を説明できる。 GW: なぜ脊髄を損傷すると麻痺がおこるのか?	教科書①p48～56を熟読する (90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書①p49図3-14、p50図3- 15、p53図3-20を他者に説明で きる程理解する(90分)。提出⑦
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第10回	恒常性維持のための調節機構 神経調節: 末梢神経(講義) 内容: 末梢神経 行動目標: ・脳神経を説明できる。 ・脊髄神経を説明できる。 ・自律神経を説明できる。 小テスト⑥: 教科書①p43図3-5、教科書②p52 ♪	教科書①p57～65を熟読する (90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書①p58図3-27を他者に 説明できる程理解する(90分)。 提出⑧
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		

第11回	恒常性維持のための調節機構 液性調整(講義・GW) 内容:液性調節 行動目標: ・ホルモンの作用機序を説明できる。 ・ホルモン分泌の調節を説明できる。 ・恒常性維持のためのホルモンの働きを説明できる。 GWテーマ:甲状腺機能亢進症の患者から「どうしてこんなに疲れやすいの?」と質問された。どのように答えるか?	教科書①p66～74を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書②p73を完成させる(90分)。提出⑨
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第12回	恒常性維持のための調節機構 ストレスと恒常性維持(講義) 内容:ストレスと恒常性維持 標本館見学のオリエンテーション 行動目標:恒常性とストレスの関係を説明できる。 ・標本館見学の方法と課題が理解できる。	教科書①p75～77を熟読する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・教科書①p76図3-46を他者に説明できる程理解する。 ・教科書②p69-70 ♪ を完成する(90分)。提出⑩
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第13回	標本館見学(見学) 内容:人体の構造の実際 行動目標:標本館見学の課題が達成できる。	・教科書②p2-3を振り返る(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・標本館見学の課題を実施する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第14回	標本館見学まとめ(GW) 内容:人体の構造の実際 行動目標:標本館見学を通し、これまでの学習と関連付けることができる。 GW:標本館見学の課題	標本見学の課題のGW準備を行う(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・標本館見学の課題の提出準備(90分)
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
第15回	確認テスト・フィードバック 内容: 確認テストと解説、14回講義のふりかえり 行動目標: 本講義の振り返りができる。	・今までの学習をふりかえり、確認テストに備える(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・今までの学習成果をいつでも見返せるように整理する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、木口 幸子、菅原 美保、横山 佳世		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	小テスト:6回×10点＝60点 確認テスト:1回×30点＝30点 事前事後学習:10回×1点＝10点	

その他	0	
教科書		
① 菱沼典子:看護形態機能学 生活行動からみるからだ第4版、日本看護協会出版会、2021 ② 菱沼典子:看護形態機能学ワークブック 体験して考えるからだのいとなみ、日本看護協会出版会、2022 ③ 佐藤達夫:新版からだの地図帳、講談社、2020		
参考文献		
① 林正健二:ナースング・グラフィカ人体の構造と機能第4版、メディカ出版、2021 ② 坂井建雄:系統看護学講座 専門基礎看護分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学、医学書院、2022		
履修条件・留意事項等		
・私語、必要時以外の携帯の使用を禁止する。 ・学習は主体的に行う。 ・提出物と小テストは定期試験と同等に扱う。 ・やむを得ず欠席した場合は、必ず欠席届を提出する。 ・やむを得ず遅刻、もしくは早退する場合は必ず教員へ申し出る。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 健康支援と社会保障制度					
科目名		医療概論				ナンバリング	2370
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	高岡 哲子、藤長 すが子						
授業の位置づけ							
本科目は、健康支援と社会保障制度の「看護に関係した健康支援と社会保障制度について学ぶ」に位置づけられ、ディプロマポリシーの「医療・看護にかかわる社会や時代の変化の本質を考究でき、豊かな人間性と高い倫理観、社会的責任感を持ち、時代の変化に合わせて主体的に社会を支えることができる」につながる。「看護学の基礎」や「在宅看護学の基礎」などと同様に看護学を学ぶ上ですべての基礎となる科目である。							
授業の概要							
本科目は医療を取りまく社会や時代の変化の本質が考究できるように、医療的な視点と国際的視野を持って地域を概観する能力を養うことを目標とする。学習内容は、医学や医療を取り巻く社会情勢や歴史的、国際的視点から医療全体を概観し、生きることと死ぬことと向き合う医療現場の特徴を踏まえ、医療職者として人々とどのように向き合うのか、専門職の立場から、社会的ニーズを考察する。							
到達目標							
・医療の現場の特徴を理解し、説明することができる。 ・医療と医学の違いを踏まえ、医学の歴史やエビデンスに基づく医療を理解することができる。 ・ナイチンゲールの功績を理解し、「看護の科学的実践」の重要性を説明することができる。							
授業の方法							
本科目は講義形式と学生同士のディスカッション、発表を活用して行う。教材は担当教員が作成した資料である。評価は、理解度を確認するための確認テストと最終レポートによって行う。							
ICT活用							
Google classroomを活用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

- ・総合的な病院で約7年間、勤務した中で対象にケアを行った経験を活かして講義を行う(高岡)。
- ・看護師資格を有し、病院での臨床経験と教育経験に基づいた講義を行う(藤長)。

課題に対するフィードバックの方法

- ・フィードバックとして確認テストや最終レポートを回収した後、集団に対して、回答の解説を行う。
- ・グループワークや発表の後、講評として集団に対してコメントをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(講義・GW:藤長・高岡) 内容:本科目の位置づけと進め方 行動目標:ガイダンス内容を理解し、自らが学習すべき内容と学習課題が説明できる。 GW:どのような看護師になりたいのか、そのために実践すべきことを考える。	・シラバスを熟読する。 ・学習に必要な物品をそろえる(90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・学習すべき内容をまとめる(90分)。
担当教員	高岡 哲子、藤長 すが子		
第2回	医療現場の特徴(講義・GW:高岡)内容:生命の尊重と健やかに生きること 行動目標:医療現場の特徴が説明できる。 GW:医療現場の特徴から看護師の役割を考える。 確認テスト①	生命、生活の質、死生学、健康の言葉の意味を調べる(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・医療現場の特徴をまとめる(90分)。
担当教員	高岡 哲子		
第3回	医療と医学(講義・GW:高岡) 内容:医療と医学の特徴と各位置づけ 行動目標:医療と医学の違いを説明できる。 GW:準備学習でのイメージと講義受講後のイメージの変化を確認する。 確認テスト②	医療と医学の自身のイメージをノートにまとめる(90分)	・行動目標の自己評価を行う。 ・医療と医学の違いをノートにまとめる(90分)。
担当教員	高岡 哲子		
第4回	医学の歴史(講義・GW:高岡) 内容:医学の歴史と科学としての医学 行動目標:医学の歴史的背景とエビデンスの重要性が説明できる。 GW:科学的、非科学的な具体的な事象とその理由を考える。	医学について自分で調べてまとめる(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・医学の歴史的背景をまとめる(90分)。
担当教員	高岡 哲子		

第5回	ナイチンゲールに学ぶ1(講義・GW:藤長) 内容:ナイチンゲールの功績と看護の科学的実践 行動目標:ナイチンゲールの功績と科学的根拠の重要性が理解できる。 確認テスト④	ナイチンゲールについて調べる(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・次回GWするための準備をする(90分)
担当教員	藤長 すが子		
第6回	ナイチンゲールに学ぶ2(GW:藤長) 内容:ナイチンゲールの功績についてGWする。 行動目標:ナイチンゲールの功績から、看護における科学的根拠の重要性が理解できる。	GWの準備をする(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・GWした内容をまとめる(90分)。
担当教員	藤長 すが子		
第7回	エビデンスに基づく医療(講義・GW:藤長) 内容:臨床疫学とEBM 行動目標:臨床疫学とEBMが説明できる。 確認テスト⑤	配布資料を読む(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・最終レポートを作成する(90分)。
担当教員	藤長 すが子		
第8回	本科目のまとめ(講義:藤長・高岡) 内容1～7回までの講義内容をふりかえる。 行動目標:本科目の学習内容をふりかえり、ポイントを説明できる。 GW:本科目を今後の学習にどのように活かすのかを考える。	最終レポートを作成する(90分)。	・行動目標の自己評価を行う。 ・今までの学習成果をいつでも見返せるように整理する(90分)。
担当教員	高岡 哲子、藤長 すが子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	確認テスト:5回×10点=50点 最終レポート:1回×50点=50点	
その他	0		
教科書			

なし
参考文献
必要時講義中に提示する。
履修条件・留意事項等
・私語、必要時以外の携帯の使用を禁止する。 ・学習は主体的に行う。 ・確認テストと最終レポートは学生便覧の定期試験と同等に扱う。 ・欠席した場合は、必ず欠席届を提出する。
備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 健康支援と社会保障制度					
科目名		看護基礎講座				ナンバリング	1101
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	木口 幸子、初見 温子						
授業の位置づけ							
初年次教育の一環として、看護学を学ぶ上で必要とされるアカデミックスキルを修得することを目的とし、大学生の学びの技法である、文献の読み方、レポートの書き方、礼節・接遇・コミュニケーションスキル・倫理的態度などを学習する科目である。また、ディプロマポリシーである、医療看護に関わる社会や時代の変化の本質を考究でき、豊かな人間性と高い倫理観、社会的責任を持ち、時代の変化に合わせて主体的に社会を支えることができる(関心・意欲・態度)ことを目指す科目である。							
授業の概要							
自主的に学ぶ存在である「大学生」にとって必要な様々な学習スキルと、看護職者に求められる人間関係を構築するための知識と技術の習得を目的とする。「大学生としての主体的な学び」を支える学習スキルとして、大学での学び方、課題に取り組む際に参考にする資料の収集方法、レポートの作成方法、グループ討議の仕方、効果的なプレゼンテーション方法などを習得する。また、看護職を目指す学生として、他学生や教職員、実習施設の看護師に対する礼節やマナー、倫理観について概説し、自他尊重するコミュニケーションを体験的に学ぶことを中心に、「自分自身で考え、自立的に学ぶために」必要な基礎を学習する。							
到達目標							
1. 大学で学ぶことを説明できる。 2. 文献の活用について説明できる。 3. レポートの書き方を理解し、作成できる。 4. 看護系大学の大学生に必要な基本的な態度について説明できる。 5. 効果的なプレゼンテーションとは何か理解し、実施できる。 6. 看護師を志す者として必要な倫理について説明できる。							
授業の方法							
パワーポイントと資料を用いて講義形式で進める。 グループディスカッション、レポート等により、講義内容の理解を深める。							
ICT活用							
無し							
実務経験のある教員の教育内容							

(木口) 修士課程において看護教育学を専攻し、教育について幅広い知識を有している。この経験を活かして看護基礎講座を行う。
(初見) 修士課程や教員としての研究活動において、アカデミックスキルを活用する経験を有している。この経験を活かして看護基礎講座を行う。

課題に対するフィードバックの方法

提出した記録物について、コメントを入れ、返却時に解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	大学で学ぶということ 大学生で身に付ける社会人基礎力 基本的なマナー (身だしなみ、言葉遣い、時間厳守等々)	大学に進学した理由、看護を選択した理由、大学と高校の違いは何か考えてくる(90分)。	講義資料を再度読み、大学で学ぶとは何か、大学で身に付ける社会人基礎力とは何か、マナーとは何かについて実行する。(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第2回	効果的な学び方 ノートの取り方 教科書の使い方	テキストの該当するページを読んてくる(90分)。	講義資料、テキストを再度読み、実行に移す(90分)。
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第3回	対人関係 ストレス対処 仲間と学ぶスキル 日々の健康管理	テキストの該当するページを読む。自身の日ごろの対人関係、ストレス対処行動、について挙げてくる。また、自身の健康について振り返る。(90分)	講義資料、テキストを再度読み、実行に移す。(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第4回	看護と倫理	テキストの該当するページを読む。倫理の言語について調べる(90分)	講義資料、テキストを再度読む。倫理について日ごろから考え、実行する(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		

第5回	情報リテラシー インターネット社会	ネット社会の良い面、悪い面を 考えてくる テキストの該当ページを読む (60分)	講義資料、テキストを再度読む。 インターネット社会について、自 分の考えをまとめ、提出する。(提出物①) (90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第6回	文献活用 文献の読み方とまとめ方	テキストの該当ページを読む (90分)	講義資料、テキストを再度読む。 (90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第7回	レポートの書き方 文献使用の方法、表示の仕方	テキストの該当ページを読む (90分)	講義資料、テキストを再度読む。 関心のあるテーマについてレポ ートにまとめ提出する(提出物②) (90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第8回	文献の検索方法(図書館司書) 図書館ツアー	テキストの該当するページを読 む(90分)	講義資料・テキストを再度読む (90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第9回	文献の検索方法(図書館司書) 図書館ツアー	テキストの該当するページを読 む(90分)	講義資料・テキストを再度読む (90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第10回	プレゼンテーションスキル ディスカッションスキル	テキストの該当するページを読 む(90分)	講義資料、テキストを再度読む(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		

第11回	プレゼンテーション準備	グループ別にプレゼンテーションの内容を考えてくる(90分)	プレゼンテーションの資料を提出(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第12回	プレゼンテーション・ディスカッション①	プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法について再度考えてくる(90分)	GW間で評価を行い、その評価表を提出する(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第13回	プレゼンテーション・ディスカッション②	プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法について再度考えてくる(90分)	GW間で評価を行い、その評価表を提出する(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第14回	プレゼンテーション・ディスカッション②	プレゼンテーションの方法、ディスカッションの方法について再度考えてくる(90分)	GW間で評価を行い、その評価表を提出する(90分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
第15回	まとめ レポート説明	第6～9回の講義を再度復習する(90分)	レポート提出(120分)
担当教員	木口 幸子、初見 温子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	提出物50% レポート50%	

その他	0	
教科書		
前原澄子・遠藤俊子監(2020).看護学生のためのよくわかる大学での学び方, 第2版, 金芳堂		
参考文献		
水戸美津子(2020).ナースのためのレポートの書き方: 仕事で使える「伝わる文章」の作法, 第2版 中央法規出版		
履修条件・留意事項等		
評価対象物において代筆や盗用等の不正行為があった場合にはD判定となる場合があります。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		コミュニケーション論				ナンバリング	3402
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	佐々木 律子						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有した人材」に関連した科目である。また、地域で暮らす人々の健康や生活を支援するため、多様なケア環境に適した多職種連携・協働・チームのあり方と看護師の役割を理解したうえでリーダー的な役割が担える人材」、「医療・看護に関わる社会や時代の変化の本質を考究でき、豊かな人間性と高い倫理観・社会的責任感を持ち、時代の変化に合わせて主体的に社会を支えることができる人材」他のディプロマポリシーとも関連している。本科目は看護師・患者関係成立のための基本的技術であり、基礎看護学科目と深く関連しており、看護学の理論や科学的根拠に基づき、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識を獲得するための科目であり、臨地実習も含めた看護学全体へつながる科目である。							
授業の概要							
看護の対象となる様々な生活環境をもつ人間を理解するための理論と方法を理解する。自己理解、他者理解、対人関係をスムーズにするための礼儀とマナー、コミュニケーションの過程と構成要素などを体験的に習得する。また、対象理解能力を養うため、看護における援助的人間関係の形成について理解する。人が人を看護するとは何か、主体的な関わりとは何かを考え、相互理解を深めることを目的とする。言語的・非言語的コミュニケーション、援助的人間関係(援助として聴くこと、伝えること)、ケアに活かすコミュニケーションスキルを体験的に習得する。							
到達目標							
1. 看護におけるコミュニケーションの意義を述べることができる。 2. 援助的人間関係を成立させる要因を述べることができる。 3. 効果的なコミュニケーション技法の活用方法を述べることができる。 4. 自分の傾向がわかり、自分のコミュニケーションに関する課題を考えることができる。							
授業の方法							
1. ガイダンス 2. パワーポイントと配布資料を用いる。 3. 講義・演習形式で行う。 4. グループ学習							
ICT活用							
配布されたタブレットを活用した自主学習支援を行います。(テキスト動画・ナースングスキル動画での看護技術に関する学習)。 グーグルクラスルームを活用します。							
実務経験のある教員の教育内容							

臨床での看護師としての実務経験を基に、具体的な事例を示しながら授業を展開する。

課題に対するフィードバックの方法

授業に関する疑問・質問については、グーグルクラスルームや次回講義の際に回答する。
提出物には口頭または文書によるコメントをする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義・演習】 ・ガイダンス ・看護技術としてのコミュニケーションを理解する。	テキスト①p.26-34、テキスト②p.164-165を熟読する。(60分)	授業内容を整理する。 課題1 (60分)
担当教員			
第2回	【講義・演習】 ・看護におけるコミュニケーション技術を理解する。	テキスト①p.35-44、テキスト②p.165-166を熟読する。(45分)	授業内容を整理する。 課題2 (60分)
担当教員			
第3回	【講義・演習】 ・コミュニケーションに影響を与える要素・態度と対人行動について理解する。 ・効果的なコミュニケーションと非効果的なコミュニケーションについて理解する。	テキスト①p.38-44、テキスト②p.166-170を熟読する。(40分)	授業内容を整理する。 課題3 (60分)
担当教員			
第4回	【講義・演習】 ・医療における信頼関係とコミュニケーションについて理解する。	テキスト①p.44-50、テキスト②p.186-200を熟読する。(45分)	授業内容を整理しまとめる。 課題4 (60分)
担当教員			

第5回	【演習】 ・自己理解を深める。他者理解の必要性について演習を通して理解できる。	テキスト②p.166-170を参考にし、自己理解を深める意義について調べる。 課題5 (90分)	演習から自分のコミュニケーションの傾向と対処方法についてまとめる。 課題6 (60分)
担当教員			
第6回	【演習】 ・他者理解の必要性に演習を通して理解できる。	他者理解を深める意義について調べる。 課題7 (90分)	演習から他者理解の重要性についてまとめる。 課題8 (60分)
担当教員			
第7回	【演習】 ・援助者としてのコミュニケーションの実際を演習から理解できる。	援助者としてどのようなコミュニケーションが望ましいのかを考える。(40分)	演習内容を整理する。 レポート (90分)
担当教員			
第8回	【講義】 ・まとめ ・確認テスト	コミュニケーションについてこれまで学んだことをまとめる (90分)	授業での学習内容を振り返る。 (60分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	40% 確認テスト 40% 課題 20% レポート	
その他	0		
教科書			

①ナーシング・グラフィカ 基礎看護学②基礎看護技術 I 松尾ミヨ子他編 第1版 メディカ出版
②新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術 I 深井喜代子 第5版 メジカルフレンド社.

参考文献

①新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論 宮脇美穂子 第5版 メジカルフレンド社
②授業の中で適宜参考文献を紹介する

履修条件・留意事項等

- ・単位認定は総合評価が60%以上となります。
- ・評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合にはD判定となる場合があります。
- ・演習内容によっては2講続きとなる場合があります。
- ・授業に関する連絡事項はGoogleクラスルームから行います。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		看護学の基礎				ナンバリング	3400
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	藤長 すが子						
授業の位置づけ							
本科目は、「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している」というディプロマポリシーを中心に展開される。看護学を説明するための概念や理論と同時に、科学的根拠を土台に人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識を獲得するための科目である。授業においては、学習への主体的・自律的な行動が期待され、専門職者として研鑽し続ける基本的な能力を身につけることが望まれる。看護学を学ぶにあたり最初に学習する専門科目であり、看護学全体の基本的内容を含む科目である。							
授業の概要							
健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、看護学の歴史的発展と看護学の基盤となる主要概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について学習する。また、看護の対象となる人々の生活を理解するとともに、看護活動を提供する仕組み、および専門職の役割・機能について学ぶ							
到達目標							
1. 看護とは何かについて、自分の言葉で述べることができる 2. 看護学の基本概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について説明できる 3. 看護の対象となる人間の生活の理解を通して、看護の役割と機能について説明できる 4. 看護の歴史的変遷についてについて説明できる 5. 看護を取り巻く法について説明できる 6. 看護提供の仕組みについて説明できる							
授業の方法							
1. 講義形式:パワーポイントと配布資料を用いる 2. グループディスカッション 3. プレゼンテーション 4. DVDの活用 5. 課題学習ノートとリフレクションカードを用いる							
ICT活用							
Google Classroomを用いて課題の提示、回収、説明を実施する。 Formsを用いて知識の確認などを実施する インターネット活用による事前学習を行う							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師としての病院勤務経験をもとに、看護についての基本的な考え方を具体的な事例を用いて教授する。また、臨床経験豊かなゲストスピーカーによる講義を実施する予定である

課題に対するフィードバックの方法

授業終了時にFormsなどを用いて授業内容に関する疑問・質問を受け付け、次回講義時にフィードバックする
提出された課題には、必要時コメントをつけて返却する
必要時、Google Classroomを用いてコメントを返却する

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義】 コースオリエンテーション 看護を学ぶ意義と大学における学習方法 看護とは 看護の原点、看護の語源	教科書1. p2-5、p13を読みまとめる 看護の語源について調べる(60分)	看護とは何かについて調べる(90分)
担当教員			
第2回	【講義】 看護の歴史の変遷 看護学の発展	教科書1. p50-79を読みまとめる(90分)	ゴールドマークレポートとブラウンレポートの背景と内容及び歴史的な意味についてまとめる(90分)
担当教員			
第3回	【講義・グループディスカッション】 看護学と看護の概念 看護とは何かについて調べてきたことをグループディスカッションする 看護の定義 看護学の主要概念	教科書1. p13-18を読みまとめる 「看護」の定義について文献などを用いて調べる(90分)	保健師助産師看護師法とICNの看護の定義の共通点と違いについて検討し整理する(90分)
担当教員			
第4回	【講義】 看護の基本概念:「人間」 ・看護の対象:生活者としての「人間」 ・人間のこころとからだ ・人間の基本的ニーズ ・発達理論 ・家族、集団、地域	教科書1. p19-27、p82-101を読みまとめる 人間について文献などを用いて調べる(90分)	看護の対象について整理する 人間の基本的ニーズについて整理する(90分)
担当教員			

第5回	【講義・グループディスカッション】 看護学の主要概念:「健康」 ・健康とは何かについて、事前に調べてきた内容をもとにグループディスカッションする ・健康とは何か ・健康モデル ・ライフサイクルと健康	教科書1. p101-108を読みまとめる 健康とは何かについて文献などを用いて調べる(90分)	看護と健康の関連について整理する(90分)
担当教員			
第6回	【講義】 看護の主要概念:「健康」 ・ヘルスプロモーション、予防、障害 ・人口統計と出生・死亡 ・ライフスタイル ・健康に影響する要因	人口統計、出生と死亡、疾病構造について調べる(90分)	ICIDHとICFの考え方の違いについて整理する(90分)
担当教員			
第7回	【講義】 看護の主要概念:「環境」	「環境」とは何かについて調べる(90分)	看護と環境の関連についてまとめる(90分)
担当教員			
第8回	【講義・グループディスカッション】 看護の役割と機能 看護ケア ケアについて調べたことをグループディスカッションする 看護職が機能する場 看護活動を展開するための法的基盤	教科書1. p110-122を読みまとめる ケアについて調べる(90分)	ケア・キュア・コアの違いについて整理する(90分)
担当教員			
第9回	【講義】 看護実践の特徴 看護の質保証に必要な要件 看護における安全・安楽・自立/自律 看護行政	教科書1. p208-217を読みまとめる(90分)	看護の質保証において安全・安楽・自立/自律が必要な理由を整理する(90分)
担当教員			
第10回	【講義・DVD】 看護の専門性 専門職とは 専門職の要件	教科書1. p236-240を読みまとめる(90分)	講義内容とDVDを視聴しての学びを整理する(90分)
担当教員			

第11回	【講義】 医療安全と医療の質の保証 医療における安全	教科書1. p254-272を読みまとめる(90分)	医療事故の発生要因と問題解決についてレポートする(90分)
担当教員			
第12回	【講義】 保健医療福祉システムと多職種連携	教科書1. 123-138を読みまとめる(90分)	地域包括ケアシステムにおける看護師の役割についてレポートする(90分)
担当教員			
第13回	【講義】 ゲストスピーカー 実際の看護実践に関する講義	ゲストスピーカーの勤務する病院について、インターネットなどで概要を調べる(60分)	ゲストスピーカーによる講義内容をもとに、自らの看護に対する考えをレポートする(90分)
担当教員			
第14回	【講義・グループディスカッション】 現在の看護職の活動と将来の展望 現在の看護の課題について、事前に考えてきた内容をもとにグループディスカッションする グループディスカッションした内容をプレゼンテーションする	現代の看護の課題についてまとめる(90分)	レポート作成(90分)
担当教員			
第15回	まとめ 確認テスト	これまでの学習内容の復習をする 教科書1. p313-314の問題を解く(90分)	確認テストで出された内容の復習(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	50% 筆記試験による 30% 課題提出と課題の達成度(事前学習含) 20% レポート提出状況と内容	

その他	0	
教科書		
1. 宮脇美保子編(2021). 新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論,第5版. メヂカルフレンド社. 2. フローレンス・ナイチンゲール, 小玉香津子, 尾田葉子訳(2019). 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護. 日本看護協会出版会. 3. ヴァージニア・ヘンダーソン, 湯楨ます・小玉香津子訳(2016). 看護の基本となるもの. 日本看護協会出版会.		
参考文献		
授業の中で適宜参考文献を紹介する		
履修条件・留意事項等		
全授業時間の3分の2以上の出席をもって評価対象とする 評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合には、D判定となる場合がある		
備考欄		
ゲストスピーカーの講義は、状況により日程に変更が生じる可能性がある		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		共通看護援助技術(2組)				ナンバリング	3408
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	佐々木 律子、木口 幸子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有した人材」、「看護過程の展開や臨床判断に必要となる問題探求能力・問題解決能力を有した人材」と関連した科目である。臨地実習を含めた基礎看護学すべての基礎となる科目の一つである。							
授業の概要							
科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護実践の基盤となる技術の重要性や共通する基礎的な方法を理解する。看護技術の特徴を踏まえたうえで看護援助に必要な看護者の思考・態度、健康と環境の相互作用、看護提供の基盤となる基本的技術(感染予防、療養生活の安全・安楽、ボディメカニクスの原理、ポジショニング、体位変換等)について理解する。							
到達目標							
1.看護の行為としての看護技術の目的・特徴について説明できる。 2.看護技術が対象者の安全・安楽・自立を目指した行為であることを説明できる。 3.感染および感染予防策に関する看護技術を実施できる。 4.ボディメカニクスの原理を活用した体位変換・安楽な体位が実施できる。 5.療養環境を整えるための基本技術を実施できる。							
授業の方法							
1. 講義:パワーポイント、教科書および配布資料を中心に講義する。 2. 演習:講義後、演習を行う。(具体的実施方法は別途提示する) 3. グループ学習 4. 授業中の小テスト:3回「感染予防」「ボディメカニクス・安楽な体位」「療養環境」							
ICT活用							
配布されるタブレット端末を活用した自主学習支援(テキスト動画・ナースングスキル等)や演習時の振り返りを行います。グーグルクラスルームを活用します。							
実務経験のある教員の教育内容							

藤長すが子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 佐々木律子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 木口 幸子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 竹之内優美:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 赤坂 浩子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 渡辺 一代:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テスト後、解答の解説を行います。また、課題にコメントを返します。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義】 ガイダンス 看護技術とは ・看護技術の特徴を学ぶ。	テキスト①p.2-12を熟読する。 (60分)	授業内容を整理する。(45分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第2回	【講義】 感染予防① ・感染と感染予防策について理解する。 ・感染源への対策を理解する。	テキスト①p.236-270を熟読する。 。(60分)	感染と感染予防策について整理し、次回の演習への事前学習へつなげる。(90分)
担当教員	佐々木 律子		
第3回	【演習】 感染予防② ・標準感染予防策の実践を学ぶ。 ・感染性廃棄物の取り扱いを学ぶ。	テキスト①p.236-245、p.257-270を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴 課題1 (90分)	感染予防策について復習し、その内容を整理する。 課題2 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	【講義】 ボディメカニクスと体位変換① ・自己の身体の動きを物理学的視点から理解できる。 ・効果的に身体を活用するための方法を学ぶ。 ・運動機能の低下した人への援助について理解できる。 ・小テスト①「感染予防」	テキスト①p.318-334、テキスト② p.106-130を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴 (90分)	人の身体の動きについて復習し、整理する。 課題2 (90分)
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美		

第5回	【演習】 ボディメカニクスと体位変換② ・ボディメカニクスの基本原理に基づいた効率的な動作の実際を学ぶ。 ・運動機能の低下した人への体位変換の方法の実際を学ぶ。(仰臥位から端坐位)	テキスト①p.318-334、テキスト②p.106-130を熟読する。 所有している物理に関する文献を復習する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 課題3 (90分)	演習の学習内容を整理する。 課題4 (90分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	【講義】 安楽な体位① ・安楽確保の基本としての安楽な体位の保持の方法について理解できる。 ・対象者の安心・安楽につながるための効果的な援助の方法を理解する。 ・対象者のリラックスした状態を意図的に生み出す方法を理解する。	テキスト①p.318-325を熟読する。 ナーシングスキル視聴 (60分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美、渡辺 一代		
第7回	【演習】 安楽な体位② ・安楽確保のための安楽な体位の実際を学ぶ。	テキスト①p.318-325を熟読する。 ナーシングスキル視聴 課題5 (90分)	演習の学習内容を整理する。 課題6 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第8回	【講義・演習】 療養環境と環境調整① ・健康の保持・増進、回復の促進を促すための生活環境を観察し評価するための視点を学ぶ。 ・病床環境の観察ができる。 ・小テスト②「ボディメカニクス・安楽な体位」	テキスト②p.2-18を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 (90分)	授業内容を整理する。(60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第9回	【演習】 療養環境と環境調整② 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.12-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 課題7 (90分)	演習内容を整理・復習する。
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	【演習】 療養環境と環境調整③ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.12-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 (90分)	演習内容を整理・復習する。 課題8 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【演習】 療養環境と環境調整④ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.2-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴（90分）	演習内容を整理・復習する。 （60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第12回	【演習】 療養環境と環境調整⑤ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。 ・安全・安楽・自立の視点からの療養環境を整える。	テキスト②p.2-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴（60分）	演習内容を整理・復習する。 レポート（90分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第13回	【講義】 無菌操作① ・滅菌物の取り扱いについて理解する。 ・感染性廃棄物の取り扱いが理解できる。 ・小テスト③「療養環境」	テキスト①p.245-257、p.271-274 を熟読する。（60分）	授業内容を整理・復習する。 （60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、赤坂 浩子		
第14回	【演習】 無菌操作② ・滅菌物の取り扱いができる。 ・無菌操作を実施できる。 ・感染性廃棄物の取り扱いができる。 ・小テスト③「感染予防・無菌操作」	テキスト①p.245-257、p.271-288を熟読する。 課題9（90分）	演習内容を整理・復習する。 課題10（60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【まとめ・確認試験】 ・本科目のまとめ ・確認試験	本科目の学修内容を整理する。 （90分）	本科目の学修結果から今後の学修課題を整理する。（30分）
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	40% 確認テスト 30% 小テスト(3回) 30% 課題	

その他	0	
教科書		
①新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 深井喜代子編 第6版 メジカルフレンド社 ②新体系看護学全書 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 深井喜代子編 第5版 メジカルフレンド社		
参考文献		
①新体系看護学全書 基礎看護学①基礎学概論 宮脇美保子編 第5版 メジカルフレンド社 ②系統看護学講座 人体の構造と機能1解剖生理学 第11版 医学書院 ③視聴覚教材 ナーシングスキル		
履修条件・留意事項等		
・単位認定は総合評価が60%以上となります。 ・評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合にはD判定となる場合があります。 ・演習内容によっては2講続きとなる場合があります。授業予定については第1回のガイダンス時に説明いたします。 ・授業に関する連絡はグーグルクラスルームから行います。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		共通看護援助技術(1組)				ナンバリング	3408
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	佐々木 律子、木口 幸子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有した人材」、「看護過程の展開や臨床判断に必要となる問題探求能力・問題解決能力を有した人材」と関連した科目である。臨地実習を含めた基礎看護学すべての基礎となる科目の一つである。							
授業の概要							
科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護実践の基盤となる技術の重要性や共通する基礎的な方法を理解する。看護技術の特徴を踏まえたうえで看護援助に必要な看護者の思考・態度、健康と環境の相互作用、看護提供の基盤となる基本的技術(感染予防、療養生活の安全・安楽、ボディメカニクスの原理、ポジショニング、体位変換等)について理解する。							
到達目標							
1.看護の行為としての看護技術の目的・特徴について説明できる。 2.看護技術が対象者の安全・安楽・自立を目指した行為であることを説明できる。 3.感染および感染予防策に関する看護技術を実施できる。 4.ボディメカニクスの原理を活用した体位変換・安楽な体位が実施できる。 5.療養環境を整えるための基本技術を実施できる。							
授業の方法							
1. 講義:パワーポイント、教科書および配布資料を中心に講義する。 2. 演習:講義後、演習を行う。(具体的実施方法は別途提示する) 3. グループ学習 4. 授業中の小テスト:3回「感染予防」「ボディメカニクス・安楽な体位」「療養環境」							
ICT活用							
配布されるタブレット端末を活用した自主学習支援(テキスト動画・ナースングスキル等)や演習時の振り返りを行います。グーグルクラスルームを活用します。							
実務経験のある教員の教育内容							

藤長すが子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 佐々木律子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 木口 幸子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 竹之内優美:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 赤坂 浩子:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。
 渡辺 一代:臨床看護師としての実務経験を活かして看護技術について授業を行います。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして小テスト後、解答の解説を行います。また、課題にコメントを返します。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義】 ガイダンス 看護技術とは ・看護技術の特徴を学ぶ。	テキスト①p.2-12を熟読する。 (60分)	授業内容を整理する。(45分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第2回	【講義】 感染予防① ・感染と感染予防策について理解する。 ・感染源への対策を理解する。	テキスト①p.236-270を熟読する。 。(60分)	感染と感染予防策について整理し、次回の演習への事前学習へつなげる。(90分)
担当教員	佐々木 律子		
第3回	【演習】 感染予防② ・標準感染予防策の実践を学ぶ。 ・感染性廃棄物の取り扱いを学ぶ。	テキスト①p.236-245、p.257-270を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴 課題1 (90分)	感染予防策について復習し、その内容を整理する。 課題2 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	【講義】 ボディメカニクスと体位変換① ・自己の身体の動きを物理学的視点から理解できる。 ・効果的に身体を活用するための方法を学ぶ。 ・運動機能の低下した人への援助について理解できる。 ・小テスト①「感染予防」	テキスト①p.318-334、テキスト② p.106-130を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴 (90分)	人の身体の動きについて復習し、整理する。 課題2 (90分)
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美		

第5回	【演習】 ボディメカニクスと体位変換② ・ボディメカニクスの基本原理に基づいた効率的な動作の実際を学ぶ。 ・運動機能の低下した人への体位変換の方法の実際を学ぶ。(仰臥位から端坐位)	テキスト①p.318-334、テキスト②p.106-130を熟読する。 所有している物理に関する文献を復習する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 課題3 (90分)	演習の学習内容を整理する。 課題4 (90分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	【講義】 安楽な体位① ・安楽確保の基本としての安楽な体位の保持の方法について理解できる。 ・対象者の安心・安楽につながるための効果的な援助の方法を理解する。 ・対象者のリラックスした状態を意図的に生み出す方法を理解する。	テキスト①p.318-325を熟読する。 ナーシングスキル視聴 (60分)	授業内容を整理する。(90分)
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美、渡辺 一代		
第7回	【演習】 安楽な体位② ・安楽確保のための安楽な体位の実際を学ぶ。	テキスト①p.318-325を熟読する。 ナーシングスキル視聴 課題5 (90分)	演習の学習内容を整理する。 課題6 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第8回	【講義・演習】 療養環境と環境調整① ・健康の保持・増進、回復の促進を促すための生活環境を観察し評価するための視点を学ぶ。 ・病床環境の観察ができる。 ・小テスト②「ボディメカニクス・安楽な体位」	テキスト②p.2-18を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 (90分)	授業内容を整理する。(60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第9回	【演習】 療養環境と環境調整② 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.12-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 課題7 (90分)	演習内容を整理・復習する。
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	【演習】 療養環境と環境調整③ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.12-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル視聴 (90分)	演習内容を整理・復習する。 課題8 (60分)
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【演習】 療養環境と環境調整④ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。	テキスト②p.2-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴（90分）	演習内容を整理・復習する。 （60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第12回	【演習】 療養環境と環境調整⑤ 『臥床患者のリネン交換』 ・臥床している対象への安全・安楽・自立の視点からのリネン交換の方法を考える。 ・安全・安楽・自立の視点からの療養環境を整える。	テキスト②p.2-20を熟読する。 テキスト動画・ナーシングスキル 視聴（60分）	演習内容を整理・復習する。 レポート（90分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第13回	【講義】 無菌操作① ・滅菌物の取り扱いについて理解する。 ・感染性廃棄物の取り扱いが理解できる。 ・小テスト③「療養環境」	テキスト①p.245-257、p.271-274 を熟読する。（60分）	授業内容を整理・復習する。 （60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、赤坂 浩子		
第14回	【演習】 無菌操作② ・滅菌物の取り扱いができる。 ・無菌操作を実施できる。 ・感染性廃棄物の取り扱いができる。 ・小テスト③「感染予防・無菌操作」	テキスト①p.245-257、p.271-288を熟読する。 課題9（90分）	演習内容を整理・復習する。 課題10（60分）
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【まとめ・確認試験】 ・本科目のまとめ ・確認試験	本科目の学修内容を整理する。 （90分）	本科目の学修結果から今後の学修課題を整理する。（30分）
担当教員	佐々木 律子、竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	40% 確認テスト 30% 小テスト(3回) 30% 課題	

その他	0	
教科書		
①新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ 深井喜代子編 第6版 メジカルフレンド社 ②新体系看護学全書 基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ 深井喜代子編 第5版 メジカルフレンド社		
参考文献		
①新体系看護学全書 基礎看護学①基礎学概論 宮脇美保子編 第5版 メジカルフレンド社 ②系統看護学講座 人体の構造と機能1解剖生理学 第11版 医学書院 ③視聴覚教材 ナーシングスキル		
履修条件・留意事項等		
・単位認定は総合評価が60%以上となります。 ・評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合にはD判定となる場合があります。 ・演習内容によっては2講続きとなる場合があります。授業予定については第1回のガイダンス時に説明いたします。 ・授業に関する連絡はグーグルクラスルームから行います。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 地域・在宅看護論					
科目名		在宅看護学の基礎				ナンバリング	3610
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	鹿内 あずさ						
授業の位置づけ							
本学のディプロマポリシー「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有した人材(知識・技能)」と関連し、人々の地域での暮らしの多様性や暮らしを守る保健行政システムの概要を理解し、地域看護・在宅看護の基本を学ぶ科目である。地域看護学の基礎・在宅看護学の展開Ⅰ・在宅看護学の展開Ⅱ・家族看護学・地域包括ケアシステム論の科目と関連し、地域・在宅看護論実習等の専門科目の基礎となる。看護学の理論や科学的根拠に基づき、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識を獲得する科目である。							
授業の概要							
在宅における看護の概念や意義と役割、制度、および、療養上の課題について学ぶ。在宅療養者と家族の健康状態や住まう環境を把握し、保健医療福祉および介護施設等の専門職、および地域の人々との連携をもとに実践する在宅看護について理解する。在宅看護を展開するためのプロセス、看護者としての基本的姿勢、在宅看護における倫理的課題について学ぶ。							
到達目標							
1. 人々の暮らしとその多様性について考えることができる。 2. 在宅看護の概念と歴史的変遷、在宅ケアシステムについて理解できる。 3. 在宅看護の対象者と家族への看護活動、および、在宅看護の特徴について理解できる。 4. 在宅療養を支えるケアチームを構成している専門職と連携について理解できる。 5. 在宅看護における対象者(本人と家族)への権利擁護について理解できる。 6. 在宅看護における倫理的課題について理解できる。 7. 在宅看護における意思決定支援について理解できる。							
授業の方法							
パワーポイントと配布印刷物、及び、視聴覚教材を用いて講義形式で進める。 理解度を確認するために毎回の講義において課題を示し、学生自身が学んだ内容について記述する。 毎回の講義で、学生が記述したコメントシートを活用し、授業の振り返りや感じた内容、要望、疑問の解決を図る。							
ICT活用							
在宅看護の実際の場面を視聴覚教材を用いて学習します。							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師・保健師の国家資格を有し、および、訪問看護師、ケアマネジャー、地域看護専門看護師としての活動経験を活かした講義内容とし、在宅看護の理解につなげます。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義中に質問・意見への返答を行い、学びの共有ができるようなフィードバックを行います。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	1. 人々の暮らしとは / 多文化(異文化)を理解するとは 【課題1の提示】	シラバスを読み、授業スケジュールを確認する。テキストの該当部分を読む(60分)。	講義資料、テキストの内容を復習する(60分)。
担当教員			
第2回	2. 人々の暮らしの基盤としての地域	前回の講義資料、テキストの該当部分を読む(60分)。	講義資料、テキストの内容を復習する(60分)。
担当教員			
第3回	3. 日本における在宅看護の変遷と歴史	前回までの講義資料、テキストの該当部分を読む(60分)。	講義資料、テキストの内容を復習する(60分)。
担当教員			
第4回	4. 在宅看護の目的と対象 DVDの視聴と学びの共有 【課題1の提出】	前回までの講義資料、テキストの該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復習する(90分)。
担当教員			

第5回	5. 在宅療養者と家族の理解 DVDの視聴と学びの共有 【課題②の提示】	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(60分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)
担当教員			
第6回	6. 地域における暮らしを支える看護(1) 1) 暮らしの環境を整える看護 2) 広がる看護の対象と提供方法	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第7回	7. 地域における暮らしを支える看護(2) 1) 地域における家族への看護 2) 地域におけるライフステージに応じた看護	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第8回	8. 地域包括ケアシステムと地域共生社会 DVDの視聴と学びの共有 【課題②の提出】	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第9回	9. 在宅看護のしくみ(1) 訪問看護制度 【課題③の提示】 <確認テスト①>	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第10回	10. 在宅看護のしくみ(2) 介護保険制度	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			

第11回	11. 在宅看護のしくみ(3) 地域保健にかかわる制度 高齢者にかかわる制度	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第12回	12. 在宅看護の展開方法(在宅看護過程) 【課題③の 提出】 ＜確認テスト①のフィードバック＞	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第13回	13. 看護の継続性とケアマネジメント ＜確認テスト②＞	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第14回	14. 在宅看護における倫理 DVDの視聴と学びの共有	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(90分)。
担当教員			
第15回	15. 在宅看護における意思決定支援 人生の最終段階を支える医療事前指示書 まとめ ＜確認テスト②のフィードバック＞	前回までの講義資料、テキスト の該当部分を読む(90分)。	講義資料、テキストの内容を復 習する(120分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	60	授業への参加態度・コメントシート(30%)、課題①②③(各10%・計30%)により評価する。	

その他	40	確認テスト(2回:計40%) により評価する。
教科書		
在宅看護学講座 第2版 スーディK和代監修 ナカニシヤ出版 2019		
参考文献		
講義内で紹介する。		
履修条件・留意事項等		
在宅療養に関心を持ち、学びを深めること。評価物に不正があった場合、D判定となることがある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 臨地実習					
科目名		基礎看護学実習 I				ナンバリング	3801
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	実習	単位	1
担当教員	藤長 すが子、木口 幸子、佐々木 律子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
看護過程の展開や臨床判断に必要な問題探究力・問題解決能力を有することを目指す科目である(思考・判断・表現)。看護学の基礎、共通看護援助技術、コミュニケーション論を関連させながら、看護の対象者の生活の場と人々の健康増進に関心を持ち、主体的に学習を継続し、自己成長につなげることをねらいとする。また、人々の健康課題を解決するための柔軟な思考力と大局的な判断力を持ち、協働しながら援助を実践する能力を身につける。看護の対象者の生活の場と看護活動の実際を学ぶことは、今後の看護の学修への動機づけとなる動の実際を学ぶことは、今後の看護の学修への動機づけとなる。後期の人体構造学Ⅱ、人体機能学Ⅱ、免疫学、メンタルヘルスに関連付けられる。							
授業の概要							
看護の実践場面を通して、療養の場と対象者の生活を知り、その中で看護師が対象者の健康の保持・増進、健康の回復、苦痛の緩和に向けてどのような援助を行っているかを学ぶ							
到達目標							
1. 健康問題を持つ対象者の療養の場の特徴を述べることができる。 2. 健康問題を持つ対象者の療養生活の実際を知り、説明できる。 3. 健康問題を持つ対象者に対する看護活動の実際を知り、説明できる。 4. 看護者として基本的態度について、身につける理由を知り、実施できる。							
授業の方法							
実習開始前ガイダンス 実習施設での学修は、臨地実習指導者と実習担当教員からの助言・指導を受け展開する 実習記録やレポート、カンファレンスにより学修を深める 他、詳細については基礎看護学実習Ⅰ要項を参照							
ICT活用							
ナーシングスキル、他動画を活用し、看護技術の確認を行う							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師としての病院勤務経験をもとに実践の場で指導する

課題に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバックの方法 提出された課題については、口頭または文書等でコメントを返却する

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	詳細については基礎看護学実習Ⅰ要項を参照	ガイダンス時に指示する	ガイダンス時に指示する
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第2回			
担当教員			
第3回			
担当教員			
第4回			
担当教員			

第5回			
担当教員			
第6回			
担当教員			
第7回			
担当教員			
第8回			
担当教員			
第9回			
担当教員			
第10回			
担当教員			

第11回			
担当教員			
第12回			
担当教員			
第13回			
担当教員			
第14回			
担当教員			
第15回			
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	実習要項参照	

その他	0	
教科書		
①宮脇美保子編(2022). 新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論, 第5版. メヂカルフレンド社. ②深井喜代子編(2022). 新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術 I, 第5版. .メヂカルフレンド社. ③②と同編者. 基礎看護技術 II ④前原澄子他編(2018). よくわかる大学での学び方, 第2版, 金芳堂		
参考文献		
その都度紹介		
履修条件・留意事項等		
評価対象物において、代筆や盗用などの不正行為があった場合はD判定となる可能性がある		
備考欄		